



取扱説明書 詳細編

144/430MHz **DUAL BAND TRANSCEIVER**



当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。 お読みになった後は、大切に保管してください。 この取扱説明書に記載の社名・商品名などは、各社の商標または登録商標です。 本機を使用するためには、総務省のアマチュア無線局の免許が必要です。 また、アマチュア無線以外の通信には使用できません。 この取扱説明書は、詳細な機能に関しての説明が記載されています。 基本的な操作に関しての説明は、本製品に同梱の取扱説明書をお読みください。

目次

使用できる microSD カード	1
microSD カード使用時のご注意	1
microSD カードを取り付ける	2
microSD カードを取り外す	2
microSD カードを初期化する	3
機能設定	4
マイクロホンの感度を調節する	4
ビープ音の音量を変更する	
ディスプレイの明るさを調節する	6
ビープ音の音量を変更する	
ディスプレイの旧るさを調節する	 R
98.542124のトーン信号を使っている	0
00.512以外のド ショうを使うている	0
メモリーを使う	10
スプリットメモリー	10
スキャンする(信号を探す)	. 11
お定メモリーを設定する	11
指定ハビリー そ改足する	1 1 1 1
相座へしり ノアノネルにけをスキャノタる	1 1 1 0
スキップスモリーを設定する	IZ
ノロクフィブルメモリースキャン(PINS)	IJ
ノロクラマノルメモリーに書さ込む	13
フロクラマフルメモリースキャンをする	14
デュアルレシーフを使う	15
デュアルレシーブの再開設定をする	16
デュアルレシーブ機能のチャンネル受信時間を	
設定する	16
CPS 機能を使う	17
御史のば史半辺を確認する	יייייייייייייי 19
	10
	- 10
	18
位直情報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する	18 18
位置情報を表示する. デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPS ログ機能)	18 18 19
位置情報を表示する. デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPSログ機能) パソコンで執跡を確認する	18 18 19 20
位置情報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPSログ機能) パソコンで軌跡を確認する その他の設定	18 18 19 20 20
位置情報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPSログ機能) パソコンで執跡を確認する その他の設定	18 18 19 20 20 21
 位置情報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPSログ機能) パソコンで軌跡を確認する。 その他の設定 便利な機能 トーン周波数を設定する。 	18 18 20 20 20 21
 位置情報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPS ログ機能) パソコンで軌跡を確認する。 その他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する。 トーンスケルチを使う 	18 18 20 20 21 21
 位置情報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPSログ機能) パソコンで軌跡を確認する その他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する トーンスケルチを使う トーン信号を送出する 	18 18 20 20 20 21 22 23
 位置情報を表示する。 デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPSログ機能) パソコンで軌跡を確認する。 その他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する。 トーンスケルチを使う。 トーンに号を送出する。 デジタルコードマルチを使う 	18 18 20 20 20 21 21 22 23
 位置情報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPSログ機能) パソコンで執跡を確認する その他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する トーンスケルチを使う トーン信号を送出する デジタルコードスケルチを使う DCSコードスを設定する 	18 18 20 20 21 21 23 24 24
 位置情報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPSログ機能) パソコンで軌跡を確認する。 その他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する トーンスケルチを使う トーン信号を送出する デジタルコードスケルチを使う DCSコードを設定する 	18 18 20 20 20 21 21 23 24 24 24
 位置情報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPSログ機能) パソコンで執跡を確認する。 その他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する トーン周号を送出する デジタルコードスケルチを使う DCSコードを設定する。 DCS コードを設定する。 DCS ホーンキャージャー 	18 18 19 20 20 21 21 23 24 24 25
 	18 18 20 20 20 21 21 23 24 24 24 25 26
 位置情報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPS ログ機能) パソコンで軌跡を確認する その他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する トーンスケルチを使う トーンスケルチを使う トーン信号を送出する デジタルコードスケルチを使う DCS コードを設定する DCS を使う 新ページャー機能を使う 自局のコードを設定する #############################	18 18 20 20 20 21 21 23 24 24 24 26 26
 位置情報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPSログ機能) パソコンで執跡を確認する その他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する トーン信号を送出する デジタルコードスケルチを使う トーン信号を送出する デジタルコードを設定する DCSを使う 新ページャー機能を使う 自局のコードを設定する 新ページャー機能を動作させる 	18 18 20 20 20 21 21 23 24 24 24 25 26 26
 位置情報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPSログ機能) パソコンで軌跡を確認する。 その他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する。 トーンは号を送出する。 デジタルコードスケルチを使う。 DCSコードを設定する。 デジタルコードを設定する。 新ページャー機能を使う。 自局のコードを設定する。 新ページャー機能を動作させる。 特定の局を呼び出す。 	18 18 20 20 20 21 21 23 24 24 24 25 26 26 27 28
 位置情報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPS ログ機能) パソコンで軌跡を確認する その他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する トーンスケルチを使う トーン信号を送出する デジタルコードスケルチを使う DCS コードを設定する DCS 支使う 新ページャー機能を使う 自局のコードを設定する 新ページャー機能を動作させる 特定の局を呼び出す 相手からの呼び出しをベルで知らせる 	18 18 20 20 21 21 21 22 23 24 24 25 26 27 28 29
 位置情報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPS ログ機能) パソコンで軌跡を確認する その他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する トーンスケルチを使う トーン信号を送出する デジタルコードスケルチを使う DCS コードを設定する DCS マードを設定する DCS を使う 新ページャー機能を使う 自局のコードを設定する 新ページャー機能を動作させる 特定の局を呼び出す 相手からの呼び出しをペルで知らせる その他のスケルチ機能 	18
 位置情報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPS ログ機能) パソコンで軌跡を確認する その他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する トーンスケルチを使う トーン信号を送出する デジタルコードスケルチを使う DCS コードを設定する 面のコードを設定する 新ページャー機能を使う 自局のコードを設定する 新ページャー機能を使う 前局の声呼び出す 相手からの呼び出す 相手からの呼び出す DTMFコードを登録する 	18 18 19 20 21 21 21 22 23 24 26 26 26 26 28 28 29 30 31
 ¹ 位置情報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPSログ機能) パソコンで執跡を確認する その他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する トーン周波数を設定する トーン信号を送出する デジタルコードスケルチを使う トーン信号を送出する デジタルコードスケルチを使う DCS コードを設定する 動のコードを設定する 新ページャー機能を使う 自局のコードを設定する 新ページャー機能を動作させる 特定の局を呼び出す 相手からの呼び出しをベルで知らせる その他のスケルチ機能 DTMFコードを登録する 登録した DTMF コードを送出する 	
 位置情報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPS ログ機能) パソコンで軌跡を確認する その他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する トーンスケルチを使う トーン信号を送出する デジタルコードスケルチを使う DCS コードを設定する DCS を使う 新ページャー機能を使う 自局のコードを設定する 新ページャー人機能を使う 自局のコードを設定する 新ページャー人機能を使う 自局のコードを設定する 受けたのの呼び出しをペルで知らせる その他のスケルチ機能 DTMFコードを登録する 登録した DTMF コードを送出する マニュアルで DTMF コードを送出する 	
 ¹ 位置情報を表示する <i>デジタ</i>ルモードで相手局の位置情報を表示する ¹ 位置情報を記録する(GPS ログ機能) <i>パ</i>ソコンで軌跡を確認する その他の設定 <i>そ</i>の他の設定 <i>使利な機能 </i>	
 ¹ 位置情報を表示する <i>デジタ</i>ルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPS ログ機能) <i>パ</i>(ソコンで軌跡を確認する その他の設定 <i>使利な機能 </i>	
 ¹ 位置情報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPS ログ機能) パソコンで軌跡を確認する その他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する トーンスケルチを使う トーンスケルチを使う トーン信号を送出する デジタルコードスケルチを使う DCS コードを設定する DCS を使う SA からの声び出しす がページャー機能を使う 相手からの呼び出しす がに定す 相手からの呼び出して がしを不少して 後能 DTMF コードを登録する 登録した DTMF コードを送出する マニュアルで DTMF コードを送出する APO 機能を使う TOT 機能を使う TOT 機能を使う 	
 □位間報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPS ログ機能) パソコンで軌跡を確認する その他の設定 (伊利な機能 トーン周波数を設定する トーンスケルチを使う トーンに見号を送出する デジタルコードスケルチを使う DCS コードを設定する DCS コードを設定する 新ページャー機能を使う 自局のコードを設定する 新ポージャー機能を使う 自局のコードを設定する 新ポージャー機能を使う 自局のコードを設定する アビタルチー機能を使う ロCS を使う 新インジャー機能をする マニュアルで DTMF コードを送出する マニュアルで DTMF コードを送出する マニュアルで DTMF コードを送出する マニュアルで DTMF コードを送出する スロッセージや画像のリストを見る メッセージや画像を整理する 	
 □位間報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPS ログ機能) パソコンで軌跡を確認する その他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する トーン月安装を使う トーン信号を送出する デジタルコードスケルチを使う DCS コードを設定する DCS コードを設定する 新ページャー機能を使う 自局のコードを設定する 新ページャー機能を動作させる 特定の局を呼び出す 相手からの呼び出しをベルで知らせる その他のスケルチ機能 DTMF コードを送出する マニュアルで DTMF コードを送出する APO 機能を使う TOT 機能を使う TOT 機能を使う メッセージや画像のリストを見る メッセージや画像を整理する 内容表示面面で進去する 	
 □位間報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPS ログ機能) パソコンで軌跡を確認する その他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する トーンスケルチを使う トーン信号を送出する デジタルコードスケルチを使う DCS コードを設定する DCS コードを設定する DCS を使う 新ページャー機能を使う 自局のコードを設定する 新ページャー機能を動作させる 特定の局を呼び出す 相手からの呼び出しをペルで知らせる その他のスケルチ機能 DTMF コードを登録する 登録した DTMF コードを送出する マニュアルで DTMF コードを送出する スPO 機能を使う TOT 機能を使う メッセージや画像のリストを見る メッセージや画像を整理する 内容表示画面で消去する 	
 ¹ 位置情報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPS ログ機能) バソコンで軌跡を確認する その他の設定 ぞの他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する トーンスケルチを使う トーンスケルチを使う トーンスケルチを使う DCS コードを設定する DCS マ使う 新ページャー機能を使う 自局のコードを設定する 新ページャー機能を使う 自局のコードを設定する 教ページャー機能をする 教育の声がらび出す 相手からの呼び出す 相手からの呼び出す 初日がらの呼び出す スの他のスケルチ機能 DTMFコードを登録する 空縁した DTMF コードを送出する マニュアルで DTMF コードを送出する スの世の教を使う ハロードを登録する 人口の 機能を使う メッセージや画像のリストを見る メッセージや画像を整理する 小 内容表示画面で消去する マニッジャーの (当れ) 	
 □位間報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPS ログ機能) パソコンで軌跡を確認する その他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する トーン周波数を設定する トーン周波数を設定する トーンパチを使う トーンに言号を送出する デジタルコードスケルチを使う DCS コードを設定する DCS コードを設定する 新ページャー機能を使う 自局のコードを設定する 新ページャー機能を動作させる 特定の局を呼び出す 相手からの呼び出す 相手からの呼び出す オボページャー機能を使う ごりたびした、 アロT 機能を使う アロTMF コードを登録する 登録した DTMF コードを送出する マニュアルで DTMF コードを送出する スPO 機能を使う アレマ ジや画像のリストを見る メッセージや画像を取り込む マロージや画像を取り込む 	
 □位間報を表示する デジタルモードで相手局の位置情報を表示する 位置情報を記録する(GPS ログ機能) パソコンで軌跡を確認する その他の設定 使利な機能 トーン周波数を設定する トーン周波数を設定する トーン周辺数を設定する トーンパチを使う レスケルチを使う DCS コードを設定する DCS コードを設定する DCS コードを設定する 新ページャー機能を使う 自局のコードを設定する 新ページャー機能をする キ定の局を呼び出す 相手からの呼び出しをベルで知らせる その他のスケルチ機能 DTMF コードを登録する 登録した DTMF コードを送出する マニュアルで DTMF コードを送出する マニュアルで DTMF コードを送出する スッセージや画像を整する メッセージや画像を整する メッセージや画像を取り込む メッセージや画像を送る 	

定型文を使う	40
メッセージや画像に返信(REPLY)する	42
メッセージや画像を転送(FORWARD)する	43
必要に広じて使う機能	лл
	. т. т . ЛЛ
「IIICI 050 万」「~~」 () で () つ () で () つ () で () つ () つ () つ	44
) 一夕を IIIに 03D カードにコレータる mioroSD カードからデータをコピーする	44
川にし30 カートからナータをコレータる	40
プローン成肥を使う	40
	40
日向り位値消報を达正9るオ擽のファームウェアをアップデートする	49
平成のファームフェアをアッファートする	50
ハグット通信の达文信候として使う	51
女礼 しゅうての 他の 成品	00
使い方にあわせて設定を変える	. 56
表示される画面の種類を設定する	
(1 SUB DISPLAY SELECT)	64
ディスプレイの明るさを設定する	
(2 LCD BRIGHTNESS)	64
ディスプレイのコントラストを設定する	
(3 LCD CONTRAST)	64
GPS 情報を切り換える(4 GPS INFORMATION)	65
電波型式を設定する	
(1 ANALOG MODE SELECT)	66
マイクロホンの感度を設定する(2 MIC GAIN)	66
AMS 機能時の送信モードを設定する	
(3 AMS TX MODE)	66
デジタルモードのスケルチタイプを設定する	
(4 DIGITAL SQL TYPE)	67
デジタルモードのスケルチコードを設定する	
(5 DIGITAL SQL CODE)	68
相手局情報をポップアップする時間を設定する	
(6 DIGITAL POPUP TIME)	68
自局位置の表示方法を設定する	
(7 LOCATION SERVICE)	68
相手局の送信終了時にビープ音を鳴らす	
(8 STANDBY BEEP)	69
ハーフデビエーションを設定する	
(9 HALF DEVIATION)	69
メモリータグの表示方法を設定する	
(1 ALPHA TAG SIZE)	70
メモリースキャン方法を設定する	
(2 MEMORY SCAN TYPE)	70
トーン周波数を設定する(1 TONE SQL FREQ)	71
DCS コードを設定する(2 DCS CODE)	71
DTMF コードの送出方法を設定する	
(3 AUTO DIALER)	71
スケルチタイプを設定する(4 SQL TYPE)	71
DTMF コードを登録する(5 DTMF MEMORY)	71
特定の局だけを呼び出す(6 PAGER CODE)	71
JR 以外の空線スケルチを設定する	
(7 PRG REV TONE)	72
相手からの呼び出しをベルで知らせる	
(8 BELL RINGER)	72
送受信別々のスケルチタイプを設定する	
(9 SQL EXPANSION)	73
信号を受信する方法を設定する	
(1 DUAL WATCH STOP)	74
スキャンする方向を設定する	
(2 SCAN DIRECTION)	74

目次

スキャンが停止したときの受信方法を設定する		7
(3 SCAN RESUME)	75	7
デュアルレシーブ機能のチャンネル受信時間を		
設定する(4 DUAL WATCH MODE)	75	
日付と時刻を設定する		
(1 DATE & TIME ADJUST)	76	
時計の表示形式を設定する(2 TIME FORMAT)	76	G
タイムゾーンを設定する(3 TIME ZONE)	77	
ノームノーノビスと9つ(0 TIME 20NE)		
	77	付
(4 AUTO REPEATER SHIFT)	/ /	ł
レビーダンノトの方向を設定する	70	
(5 REPEATER SHIFT)	78	
レビータのシフト幅を設定する		
(6 REPEATER SHIFT FREQ)	78	P
周波数ステップを設定する(7 FM AM STEP)	79	
ビープ音の音量を設定する(8 BEEP)	79	
マイコンのクロックシフトを設定する		
(9 CLOCK TYPE)	79	
マイクロホンのプログラムキーを設定する		
(10 MIC PROGRAM KEY)	79	
受信範囲を拡張する(11 BX COV/ERAGE)	81	
実活電話を過点する(12 LINIT)	81	
白動的に雲酒を切る(12 000)	01	
当期1000000000000000000000000000000000000	02	
	02	
Bluelooln ハットセットの PIN コートを設定する	~~	
(15 Bluetooth PAIRING)	82	
GPS 機能の測地糸を設定する(16 GPS DATUM)	82	
GPSの位置情報を記録する間隔を設定する		
(17 GPS LOG)	82	
COM ボートを設定する		
(1 COM PORT SETTING)	83	
APRS とデータ通信の通信速度を設定する		
(2 DATA SPEED)	85	
スケルチ検出やスケルチ端子の出力条件を設定する	5	
(3 DATA SQUELCH)	86	
設定内容を microSD カードに書き込む		
(1 BACKUP)		
microSD カードを初期化する(2 FORMAT)	87	
Bluetoothへッドセットの動作を設定する	01	
(1 Bluetooth)	87	
ボイフィモリーの動作を設定する	07	
	07	
	07	
	00	
	88	
ノリセットを登録する(2 PRESET)	88	
登録したフリセットを呼び出す		
(3 RECALL PRESET)	89	
メモリーチャンネルを消去する		
(4 MEMORY CH RESET)	89	
メモリーチャンネルをソートする		
(5 MEMORY CH SORT)	90	
APRS の設定をリセットする(6 APRS RESET)	90	
保存されているデータをコピーする(7 CLONE)	90	
コールサインを変更する		
(1 MY CALL SIGN(DIGITAL))	91	
オフション(Bluetooth/Voice unit)を使う	92	
Bluetooth ユニットIBU-2Jを装着する	92	
Bluetooth ヘッドセットの動作を設定する	94	
Bluetooth ヘッドセットを認識させる	96	
Bluetooth ヘッドセットを使う	98	

75	ボイスガイドユニット[FVS-2]を装着する… ボイスメモリーを使う	
/0	ボイスメモリーの動作を設定する	
75	受信音声を録音する	
70	録音した音声を冉生する	
16	球首しに首戸を凋去9る	103
76	周波数を読み上げる音声を聞く	104
77	周波数を読み上げる音声を聞く	105
	付 録	106
77	付 録 ヒューズの交換	106
77	付録 ビューズの交換 音が出ない	106
77 78	付録	106
77 78	 付録 ヒューズの交換 音が出ない 電波が出ない キーやツマミを操作しても変化がない 	106 106 107 107 107
77 78 78	 付録	
77 78 78 78 79	 付録	106 106 107 107 107 108
77 78 78 78 79 79	 付録 ヒューズの交換 音が出ない 電波が出ない キーやツマミを操作しても変化がない 内部スプリアスについて 	106 106 107 107 107 108

microSD カードをセットする

本機では、市販の microSD カードを使用すると、次のようなことができます。

- •本機の情報をバックアップする
- GPS ログデータを保存する
- GM 機能や WIRES-X 機能でダウンロードしたデータを保存する
- 複数の無線機間で保存したデータを交換する

使用できる microSD カード

本機では、2GBの microSD カードと 4GB、8GB、16GB、32GBの microSDHC カードをお使いいただけます。



● microSD カードまたは microSDHC カードは本製品には付属していません。

● 市販されているすべての microSD カードと microSDHC カードの動作を保証するもの ではありません。

microSD カード使用時のご注意

- microSD カードを曲げたり、重い物を上に載せたりしないでください。
- microSD カードの端子面を素手で触れないでください。
- •他の機器で初期化した microSD カードを本機で使用すると、正常に記録できない場合があります。他の機器で初期化した microSD カードを使用される場合も、本機で初期化しなおしてください。(メモリカードの初期化方法は3ページを参照してください)
- microSD カードにデータを書き込み中、または読み込み中に、microSD カードを 抜いたり、本機の電源を切らないでください。
- 本機のmicroSDカードスロットには、microSDカード以外のものを挿入しないで ください。
- •挿入した microSD カードは、無理に引き抜かないでください。
- 1 つの microSD カードを長期間使用すると、書き込みまたは消去などができなくなることがあります。書き込みまたは消去などできないときは寿命ですので、新しい microSD カードをご使用ください。
- microSD カード内のデータ破損による損害については、当社は一切の責任を負いか ねますので、あらかじめご了承ください。

microSD カードをセットする

microSD カードを取り付ける

1 ① ____を2秒以上押し、本体の電源を切る

microSD カードスロットに microSD カードを挿し込む

microSD カードの端子面を上にして、「カチッ」と 音がするまで押し込みます。

- 注意 microSD カードの向きに注意して差し込んでくださ い。
 - microSD カードの端子部分を手で触れないでください。
- その後電源を入れると、ディスプレイの右上に**5**0 アイコンが表示されます。

参考 カードの容量によりアイコンが表示されるまで時間が かかる場合があります。

microSD カードを取り外す

- 1 しして、を2秒以上押し、本体の電源を切る
- microSD カードを押し込む 「カチッ」と音がして microSD カードが押し出されます。
- 3 microSD カードスロットから microSD カードを引き抜く







microSD カードをセットする

microSD カードを初期化する

新しい microSD カードを使用するときは、次の手順で初期化してください。



初期化すると、microSD カードに記録されているすべてのデータが消去されます。使用中の microSD カードを初期化する場合は、microSD カードの内容をご確認ください。

1 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- 2 DIALをまわして[11 SD]を選択し、(2018)を押す メニューリストが表示されます。
- DIALをまわして[2 FORMAT]を選択し、 (品語)を 押す フォーマット確認画面が表示されます。
- 4 DIALをまわして[OK?]を選択し、(ABB)を押す microSDカードが初期化されます。

 初期化を中止する場合は、DIALをまわして[Cancel] を選択し、(ABB)を押します。

 初期化が終わると[Completed]と表示され、メニューリストに戻ります。





SETUP MENU (SD 1 BACKUP 2♦FORMAT

SETUP MT	<u> </u>	1
	DRMAT	
	ancel	
·		

機能設定

マイクロホンの感度を調節する

マイクロホンの感度(マイクゲイン)を調節することができます。

1 (
聖歌)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- DIALをまわして[2 TX/RX]を選択し、(温暖)を押す
 メニューリストが表示されます。
- DIAL をまわして [2 MIC GAIN] を選択し、(温祉) を 押す マイクゲインの設定値が表示されます。
- 4 DIALをまわし、マイクゲインを選択する

 [1 MIN]→[2 LOW]→[3 NORMAL]→[4 HIGH]
 参考 工場出荷値:3 NORMAL
- 3 (副部)を1秒以上押す
 感度が設定され、もとの画面に戻ります。
 参習 (BACK)を3回押しても戻ります。



ビープ音の音量を変更する

- キー操作するときに鳴る操作確認音(ビープ音)の音量を変更できます。
- 1 (聖歌)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- DIAL をまわして [8 CONFIG] を選択し、(温暖)を押す
 メニューリストが表示されます。
- DIAL をまわして[8 BEEP]を選択し、(2018)を押す 音量の設定値が表示されます。
- 4 DIAL をまわして音量を選択する

 [1 OFF]→[2 LOW]→[3 HIGH]
 参考 工場出荷時:2 LOW
- 5 (副部)を1秒以上押す ビープ音の音量が設定され、もとの画面に戻ります。

 参考 (BACK)を3回押しても戻ります。

5









ディスプレイの明るさを調節する

ディスプレイの明るさやコントラストを変更できます。

1 (品語)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- DIAL をまわして[1 DISPLAY]を選択し、(細胞)を 押す メニューリストが表示されます。
- DIAL をまわして[2 LCD BRIGHTNESS]を選択し、(部部)を押す レベルを選択する画面が表示されます。
- 4 DIAL をまわして明るさのレベルを選択する 次の7段階から選べます。
 「MIN」「2」「3」「4」「5」「6」「MAX」
 参考工場出荷時: MAX
- 5 BACK を押す
 参考 設定を終了する場合は、(品部)を1秒以上押します。
 続けてコントラストを調整する場合は、手順6に進ん

でください。

6 DIALをまわして**[3 LCD CONTRAST]**を選択 し、(2007)を押す

レベルを選択する画面が表示されます。

- 7 DIAL をまわしてコントラストのレベルを選択する次の7段階から選べます。

 [-3][-2][-1][0][+1][+2][+3]
 参考工場出荷時:0
- 8 (品語)を1秒以上押す
 コントラストが設定され、もとの画面に戻ります。
 参考 (BACK)を3回押しても戻ります。











ビープ音の音量を変更する

キー操作するときに鳴る操作確認音(ビープ音)の音量を変更できます。

1 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- DIAL をまわして [8 CONFIG] を選択し、(温暖) を押 す
 メニューリストが表示されます。
- DIAL をまわして[8 BEEP]を選択し、(2018)を押す 音量の設定値が表示されます。
- 4 DIAL をまわして音量を選択する

 [1 OFF]→[2 LOW]→[3 HIGH]
 参考 工場出荷時:2 LOW
- 3 (品部)を1秒以上押す
 ビープ音の音量が設定され、もとの画面に戻ります。
 参考 (BACK)を3回押しても戻ります。

1234	BETUE NEXU (1/2) DISPLAY 5 SCAN TX/RX 6 GM MEMORY 7 WIRES-X SIGNALING 8⊫CONFIG	
58 8 9 10 11	ETUP MENU I CONFIG BEEP CLOCK TYPE MIC PROGRAM KEY RX COVERAGE	117
	BEEP OFF ▶LOW HIGH	

BAND

ディスプレイの明るさを調節する

ディスプレイの明るさやコントラストを変更できます。

1 (品語)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- DIAL をまわして[1 DISPLAY]を選択し、(細胞)を 押す メニューリストが表示されます。
- DIAL をまわして[2 LCD BRIGHTNESS]を選択し、(部部)を押す レベルを選択する画面が表示されます。
- 4 DIAL をまわして明るさのレベルを選択する 次の7段階から選べます。
 「MIN」「2」「3」「4」「5」「6」「MAX」
 参考工場出荷時: MAX
- 5 BACK を押す
 参考 設定を終了する場合は、(2018)を1秒以上押します。
 続けてコントラストを調整する場合は、手順6に進ん

でください。

- DIAL をまわして[3 LCD CONTRAST] を選択し、(細胞)を押す レベルを選択する画面が表示されます。
- 7 DIALをまわしてコントラストのレベルを選択する 次の7段階から選べます。

 [-3][-2][-1][0][+1][+2][+3]
 参考工場出荷時:0
- 8 (品語)を1秒以上押す
 コントラストが設定され、もとの画面に戻ります。
 参考 (BACK)を3回押しても戻ります。



(
SETUP	MENU	(1/2)
1⊮DISPLA\ 2 TX/RX 3 MEMORY 4 SIGNAL]	/ 5 67 (NG 8	SCAN GM WIRES-X CONFIG







88.5Hz 以外のトーン信号を使っているレピータで交信する

* ⁶⁰⁸ 145.520 42 km/n 11 439.700

SETUE MENU (1/2) 1 DISPLAY 5 SCAN 2 TX/RX 6 GM 3 MEMORY 7 WIRES-X 4 SIGNALING 8 CONFIG

SETUP MENU [SIGNALING] 9

1 FTONE SQL FREQ 2 DCS CODE 3 AUTO DIALER 4 SQL TYPE

TONE SQL FREQ 85.4 Hz M 88.5 Hz]

BAND

トーン信号の周波数を設定してから交信します。

- 1 受信周波数をレピータの周波数にあわせる
- 2 (副部)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- DIAL をまわして [4 SIGNALING] を選択し、 (細胞) を押す メニューリストが表示されます。
- DIALをまわして[1 TONE SQL FREQ]を選択し、(部)を押す
 周波数が表示されます。
- 5 DIALをまわして周波数を選択する
- (品語)を1秒以上押す
 トーン周波数が設定され、もとの画面に戻ります。
 (多考) (BACK)を3回押しても戻ります。
- 7 [PTT]を押して送信する 送信時は設定したトーン信号と、受信周波数より 5MHz 低い周波数で電波が発射 されます。



設定した内容は、メモリーに登録できます。



スプリットメモリー

受信周波数を登録済みのメモリーチャンネルに、別の周波数を送信周波数として登録で きます。

- 1 VFO モードで登録する送信周波数を選択する
- (WW)を1秒以上押す MEMORY WRITE 画面が表示されます。
 空いているメモリーチャンネルに、周波数が自動的 に表示されます。
- 3 DIALをまわして送信周波数を登録するメモリーチャンネルを選ぶ

参考 (TXPO)を押すと、100 チャンネルずつ先に進みます。





4 Gm を押す(上に 1811 が表示されています)
 確認の画面が表示されます。

- 5 DIALをまわして[OK?]を選択し、(2008)を押す 送信周波数が登録され、メモリーモード画面が表示 されます。
 - 参考別の周波数を送信周波数として登録したメモリーチャンネルは、左側に ▲が表示されます。 また、別の周波数を送信周波数として登録したメモリーチャンネルを選択しているとき、 ディスプレイには ▲が表示されます。



指定メモリーを設定する

セットアップメニューで[2 MEMORY SCAN TYPE]を[2 SELECT MEMORY]に 設定した場合にスキャンされるメモリーを指定します。

 1 (₩)を1秒以上押す MEMORY WRITE 画面が表示されます。

2 () を押す(左側に) します が表示されています)

- 3 DIAL をまわして指定するメモリーを選ぶ
- 4 を2回押す(上に 日本 が表示されています) メモリーチャンネル番号表示の右側に「▶」が点灯します。この状態が「SELECT」です。指定メモリチャンネルだけをスキャンするときのスキャン対象です。

参考 ・選択を解除する場合は、もう一度を押します。「▶」が消灯します。 ・続けて他のメモリーを指定する場合は、手順3~4を繰り返します。

5 (温暖)を押す もとの画面に戻り、メモリーチャンネル番号の左側に「▶」が表示されます。

指定メモリーチャンネルだけをスキャンする

- 1 スキャンするバンドを選択してからメモリーモードに切り替える
- 2 (2 (2 (2 ###)を1秒以上押す
 セットアップメニューが表示されます。









参考 上記手順 1. ~ 5. 以外にも、指定したいメモリーを呼び出しているときに / 脱型 を2回押す と、指定メモリーを設定することができます。

スキャンする(信号を探す)

- 3 DIALをまわして[3 MEMORY]を選択し、(2007)を押す メニューリストが表示されます。
- 4 DIALをまわして[2 MEMORY SCAN TYPE]を選択し、(2018)を押す 設定項目が表示されます。
- 5 DIALをまわして[2 SELECT MEMORY]を選択する
- (品語)を1秒以上押す
 もとの画面に戻ります。
- 7 マイクロホンの[UP]、または[DWN]を1秒以上押す 指定メモリーに設定されたメモリーチャンネルだけをスキャンします。
 - 参考・[UP]を押したときは、メモリーチャンネル番号の大きい方向に向かってスキャンされます。 [DWN]を押したときは、メモリーチャンネル番号の小さい方向に向かってスキャンされます。
 - ・信号を受信すると、3秒間スキャンが停止し、その後スキャンが再開されます。
 - ・スキャンを中止する場合は、マイクロホンの[PTT]を押します(送信状態にはなりません)。

スキップメモリーを設定する

受信したくないメモリーチャンネルをスキャン中にスキップさせることができます。

- 1 ○○● 1 秒以上押す MEMORY WRITE 画面が表示されます。
- 2 (かまつ) を押す(左側に して が表示されています)
- 3 DIAL をまわして指定するメモリーを選ぶ
- 4 を押す(上に 日日 が表示されています) メモリーチャンネル番号表示の右側に[▶]が点滅し ます。この状態が[SKIP]です。メモリースキャン 時にスキップされます。



MEMORY CH LIST(A)									
001 145.000 (1	ł	I,	1	I,	1	۰.	1
<u>002, 433,000 (</u>		I	1	I	I	I	I	1	l
<u>1993) 432 580 </u>		1	0	1	0	1	0	ţ.	
	L)	Ľ	Ŷ						

参考 · 選択を解除する場合は、 ● を 2回を押します。 「▶」が消灯します。 ・続けて他のメモリーを指定する場合は、手順 3 ~ 4を繰り返します。

もとの画面に戻り、メモリーチャンネル番号の左側に「▶」が点滅表示されます。

参考 上記手順1.~5.以外にも、スキップしたいメモリーを呼び出しているときに/脱りを押す と、スキップメモリーを設定することができます。

スキャンする(信号を探す)

プログラマブルメモリースキャン(PMS)

専用のメモリーチャンネルを使って、同じ周波数帯内の指定した周波数範囲内だけをスキャンできます。

周波数範囲は、あらかじめ PMS 用のメモリーチャンネルに登録しておきます。

プログラマブルメモリーに書き込む

PMS メモリーチャンネルには、9 組(LP1/UP1 ~ LP9/UP9)の周波数範囲を設定で きます。

スキャンしたい周波数範囲の下限周波数をメモリーチャンネルの「LP*」に、上限周波数を「UP*」に登録します。

同じチャンネル番号[*](1~9の数字)のメモリーを1組の PMS チャンネル[P*]として扱います。

例:下限周波数 433.200MHz、上限周波数 433.700MHz を P1 チャンネルにメモリー する場合

- 1 VFO モードに切り替える
- DIAL をまわして周波数を選択する 下限に設定する周波数(433.200MHz)にあわせます。
 注意 下限(LP1)に設定する周波数は、上限(UP1)より低い周波数を設定してください。
- 3 〔₩●を1秒以上押す MEMORY WRITE 画面が表示されます。
- 4 DIAL をまわして[LP1]を選択する

MEMOR	Y WRITE	(A)	LIST
LP1	402.500	[· • •]
UP1		[111
LP2		(
1100		Nin TAG	

- 5 (

 2017)を押す

 もとの画面に戻り、メモリーした周波数とメモリーチャンネル番号が表示されます。
- 6 WW を押して VFO モードに切り替える
- 7 DIAL をまわして周波数を選択する 上限に設定する周波数(433.700MHz)にあわせます。
- 8 (₩)を1秒以上押す
 MEMORY WRITE 画面が表示されます。
- 9 DIAL をまわして[UP1]を選択する
- 10 (鼎歌)を押す

もとの画面に戻り、メモリーした周波数とメモリーチャンネル番号が表示されます。 下限周波数 LP1 上限周波数 UP1





スキャンする(信号を探す)

プログラマブルメモリースキャンをする

- 1 ())を押してメモリーモードに切り換える
- 2 下限周波数または上限周波数の PMS メモリーを呼び出す
- 3 マイクロフォンの[UP]または[DOWN]を1秒以上押す プログラマブルメモリースキャンが開始されます。
 - 参考・信号を受信すると、3秒間スキャンが停止し、その後スキャンが再開されます。
 - ・プログラマブルメモリースキャンを停止する場合は、マイクロホンの[PTT]を押します (PMS モードは解除されません)。
 - ・PMS モードを解除するには、プログラマブルメモリースキャン停止中に(₩)を押します。
 - ・スキャン中も次の手順でスケルチレベルを調節できます。
 (級)を押す→ DIAL をまわす



下限周波数 / 上限周波数が正しく設定されていない場合は、プログラマブルメモリースキャンは動作しません。

参考 セットアップメニューの[8 CONFIG]→[10 MIC PROGRAM KEY]で、マイクの[P1] ~ [P4]のいずれかに[SCAN]を割り当てられます。[P1] ~[P4]に機能を割り当てる方法に ついては、79 ページの[マイクロホンのプログラムキーを設定する(10 MIC PROGRAM KEY)」を参照してください。

[P1]~[P4]を使用した操作方法は、以下のとおりです。

- 1 ()を押してメモリーモードに切り替える
- 2 下限周波数または上限周波数の PMS メモリーを呼び出す
- 3 [SCAN]を割り当てたマイクロホンの[P1]~[P4]のいずれかのキーを押す

ホームチャンネルを監視する

本機には、設定した時間ごとにホームチャンネルの信号を確認し、信号がある場合はその信号を受信する、デュアルレシーブ機能(デュアルウォッチ(DW)ともいいます)を搭載しています。

例: [145.500MHz]を受信しながら5秒ごとにホームチャンネルを確認する場合



受信中の周波数 約5秒間隔でホームチャンネルを 監視します。

ホームチャンネルで信号を受信す るとその信号がなくなるまで受信 を続け、信号がなくなった後、約 3秒後にデュアルレシーブを再開 します。



工場出荷時、144MHz 帯のホームチャンネルには 145.000MHz、430MHz 帯のホームチャ ンネルには 433.000MHz が登録されています。

デュアルレシーブを使う

- 1 DIALをまわし、受信する周波数またはメモリーチャンネルにあわせる
- 2 (小器)を1秒以上押す
 デュアルレシーブが開始され、約5秒ごとにホーム チャンネルの周波数を受信します。
 セットアップメニューの[5 SCAN]→[4 DUAL WATCH MODE]で、ホームチャンネルを確認する 間隔(時間)を変更できます(P.16)。
 ホームチャンネルに信号がある場合は、その信号が なくなるまで受信しつづけます。



●デュアルレシーブを解除するには

もう一度 🔐 を1秒以上押します。

デュアルレシーブの再開設定をする

ホームチャンネルの信号がなくなったときのデュアルレシーブの再開条件を、次の2通 りから選択できます。

(1)3 秒経過したあと、デュアルレシーブを再開します(AUTO)。

(2)デュアルレシーブを中止し、ホームチャンネルを受信しつづけます(HOLD)。

- 1 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- 2 DIALをまわして[5 SCAN]を選択し、(2008)を押す メニューリストが表示されます。
- DIAL をまわして[1 DUAL WATCH STOP]を選択し、(2007)を押す 設定項目が表示されます。
- 4 DIALをまわして再開条件を選択する

 「1 AUTO」、または「2 HOLD」を選択します
 参考 工場出荷値:1 AUTO
- 5 (2007)を1秒以上押す デュアルレシーブの再開条件が設定され、もとの画面に戻ります。

デュアルレシーブ機能のチャンネル受信時間を設定する

デュアルレシーブ機能実行中の HOME チャンネルを確認する間隔を設定します。

- 1 (品語)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- 2 DIALをまわして[5 SCAN]を選択し、(ASE)を押す
- 3 DIALをまわして[4 DUAL WATCH MODE]を選択し、(認識)を押す
- 4 DIALをまわし、HOME チャンネルを確認する間隔 を選択する。

[0.3sec]~[10sec]のいずれかを選択します。

参考 工場出荷時: 5.0 sec

補足 HOME チャンネルの受信時間は 0.3sec 固定です。

5 (2007)を1秒以上押す HOME チャンネルを確認する間隔が設定され、もとの画面に戻ります。

EETUE MERU 1 DISPLAY 5 SCAN 2 TX/RX 6 GM 3 MEMORY 7 WIRES-X 4 SIGNALING 8 CONFIG
SETUP MENU ISCAN 1 1 DUAL WATCH STOP 2 SCAN DIRECTION 3 SCAN RESUME 4 DUAL WATCH MODE
DUAL WATCH MODE

	SETUP	MENU	(1/2)
1	DISPLA	/ 51	⊧SCAN
1 3	IX/RX	Ę.	UTOFO V
을 가	PIEMURY	гме б	CONFIC
ι +	SIGNHL.	una 0	CONFIG

SETUP MENU ISCAN J 1+DUAL WATCH STOP 2 SCAN DIRECTION 3 SCAN RESUME 4 DUAL WATCH MODE

DUAL WATCH STOP 10AUTO 2 HOLD

GPS 機能を使う

本機は GPS 受信ユニットを内蔵しており、常に位置情報を受信し表示することができます。位置情報は、たとえば次のようなときに利用できます。

よく交信する他局をメモリーして交信圏内にいるかを確認する ☞ 別冊『GM 編 取扱説明書』を参照 他局とデータ通信で位置情報やメッセージをやりとりする

☞ 別冊『APRS 編 取扱説明書』を参照

GPSとは?

GPS(Global Positioning System)は、全地球測位システムとも言われ、地球上の現 在位置を調べるための人工衛星による測位システムです。アメリカ国防省が開発した軍 事用のシステムで、高度約 20000km にある約 30 個の GPS 衛星のうち、上空の 3 個 以上の衛星から信号を受け取り、数mの誤差で現在の位置情報(緯度・経度・高度など) が取得できます。また、GPS衛星に搭載された原子時計から正確な時刻が受信できます。 本機は、準天頂衛星みちびき(QZSS)に対応した、高感度 66ch GPS アンテナを標準 装備しています。測位時間を短縮し、位置情報の精度も向上しています。

GPS で測位する

1 しこのを1秒以上押して電源を入れる 衛星のサーチが開始されます。サーチ中は画面左上 に、アイコンが点滅表示されます。衛星を捕捉する と、アイコンが点灯します。

参考 · 衛星を捕捉するのに数分かかる場合があります。

 ・衛星を3個以上捕捉できない場合、、アイコンは点滅 を続けます。このときは測位できないため、位置情報 を利用できません。



GPS 測位について

測位とは、衛星の軌道情報と電波の伝播時間のデータから自分の位置を計算することをいいま す。測位するには衛星が3個以上捕捉されている必要があります。測位がうまくできない場合 は、なるべく建物から離れ障害物の少ない天空の開けた場所に移動してください。

●誤差について

測位する周辺の環境により数百 m の誤差が生じることがあります。測位する条件によっては3 個 の衛星でも測位できますが、下記の条件で精度が悪くなったり測位できなくなったりすることが あります。

- ・高層ビルの間
- ・建物の間の狭い道路
- ・室内やビルの陰

- ・高圧線の下や高架の下
- ・森や林など樹木の間
- ・トンネルの中や地下
- ・熱線反射ガラス越しでの使用 ・強い磁気を発生する場所

●長期間使用していなかった場合

本機をお買い上げ後初めて GPS 機能を使用する場合や、長期間使用していなかった場合は、衛 星をサーチするため測位時間が数分かかります。また、一度電源を切り数時間後に再び使用する 場合も、衛星をサーチするため測位時間が数分かかります。

衛星の捕捉状況を確認する

現在地で捕捉されている衛星とその信号の強さを、レーダー状の画面で見ることができます。

- (品語)を短く2回押す レーダー状のGPS画面が表示され、捕捉したGPS 衛星の番号と信号強度がグラフで表示されます。
 □は、捕捉していない衛星を示します。■は、捕捉 している衛星を示します。また、信号強度グラフの 上には自局位置(緯度と経度)が表示されます。
 - 参考・もう一度(品記)を押すと、元の画面に戻ります。
 ・セットアップメニューの[1 DISPLAY]→[4 GPS INFORMATION]で、信号強度グラフの上の表示を周波数表示に変更できます。

位置情報を表示する

自局の現在の位置情報を表示する

通常画面の周波数表示の左側に、自局の現在の位置情報 が表示されます。自局の進行方向を示すコンパス、およ び自局移動速度が表示されます。



デジタルモードで相手局の位置情報を表示する

C4FM デジタルの V/D モードでは、GPS から得た位置情報を音声信号と同時に通信 していますので、交信をおこなっている間でも、リアルタイムで相手局の位置と距離を 表示することができます。

(ABB)を短く1回押す
 周波数表示の左側に、相手局の現在の位置情報が表示されます。相手の方位を示すコンパス、および相手局までの距離が表示されます。



を セットアップメニューの[10 APRS]→[11 APRS UNITS]で、各種データの表示単 位が変更できます。

位置情報を記録する(GPS ログ機能)

自局の位置情報を、定期的に microSD カードに記録(保存)することができます。

- 1 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわして[8 CONFIG]を選択し、(2007)を 押す
 パー・ リフレがま⁻⁻ ナわナナ

メニューリストが表示されます。

 DIAL をまわして[17 GPS LOG]を選択し、 (副語) を押す
 GPS ログ機能の OFF と記録する間隔を選ぶ画面が

るFSロジ機能のOFFと記録する間隔を進ぶ画面が 表示されます。

参考「OFF」を選択すると記録されません。

4 DIALをまわして[1 ON[xx sec]]を選択し、(2007)を押す
 参考 工場出荷時:2 OFF

SETUP M	ENU (1/2)
1 DISPLAY	5 SCAN
<u>2 TX/RX</u>	<u>6 GM</u>
3 MEMORY	_ 7.WIRES _ X
4 SIGNALIN	G 8∎CUNFIG

SETUP MENU (CONFIG	117
14 TOT	•
IS BIGECOOCH PHIKING 18 GPS DATUM	3
17⊧GPS LOG	

GPS	LOG		
100N 2 0FF	[10	sec l	

- 5 DIALをまわし、位置情報を記録する間隔を選択する
 [1 sec][2 sec][5 sec][10 sec][30 sec][60 sec]
 ジジ 工場出荷時:10 sec
- 6 (2007)を1秒以上押す 位置情報を記録する間隔が設定され、もとの画面に戻ります。画面に2007が点灯し ます。

また、設定した間隔での位置情報の記録が開始されます。

・位置情報は、手順4で「OFF」を選択するか、本機の電源をOFF にするまで続けて記録されます。



もう一度手順5で記録する間隔を選択するか、本機の電源をいったん OFF にしてから ON にすると、同一日付内であれば同じファイルに続けて位置情報が記録されます。 ・データは[GPSyymmdd.log]の名称で保存されています。 [vymmdd]部分は、記録開始時の年(vy)、月(mm)、日(dd)を表しています。

パソコンで軌跡を確認する

保存した位置情報のログデータを使用して、市販の地図ソフト上に軌跡を表示させるこ とができます。

- 1 本機の電源をオフにする
- microSD カードを抜く
 参考 2 ページの[microSD カードを取り外す]を参照してください。
- 3 市販のメモリカードリーダーなどを使用して、microSDカードをパソコンに接続 する
- 4 microSD カード内の[FTM100D]フォルダを開く
- 「GPSLOG」フォルダを開く
 データは「GPSyymmdd.log」の名称で保存されています。
 「yymmdd」部分は、記録開始時の年(yy)、月(mm)、日(dd)を表しています。
- 6 市販の地図ソフトにデータをインポートする 地図上に軌跡が表示されます。



インポートや表示などの方法は、お使いになる地図ソフトの取扱説明書をご覧ください。
 本機とパソコンを直接接続して、位置情報を利用することもできます。48 ページの「外部機器と接続して使う」を参照してください。

その他の設定

●測地系を変える

セットアップメニューの[8 CONFIG]→[16 GPS DATUM]で設定します。 測位の基準である測地系を選ぶことができます。

「1 WGS-84」: 世界測地系を使って測位します。全世界で標準的に使われています。 「2 TOKYO MEAN」: 日本測地系を使って測位します。日本(東京)で測位するときに、 誤差を小さくできます。



・測地系を変えると、位置情報が 400m 程度ずれます。 ・通常は「WGS-84」のままで使用してください。

●タイムゾーンを変える

セットアップメニューの[8 CONFIG]→[3 TIME ZONE]で設定します。 UTC(Coordinated Universal Time)に対する時差を、30 分単位で変えられます。

便利な機能

特定の相手局と交信する

トーンスケルチを使う

本機は CTCSS (Continuous Tone-coded Squelch System)を搭載しており、設定 したトーン周波数と同じ周波数を含んだ信号を受信したときにだけ音声を聞くことがで きます。あらかじめ相手局とトーン周波数をあわせておくことにより、静かな待ち受け ができます。



CTCSS は、デジタルモードでは動作しません。はじめに AMS(オートモードセレクト機能)またはアナログモード(FM)に切り替えてください。

トーン周波数を設定する

トーン周波数は 67.0Hz ~ 254.1Hz の 50 種類から選べます。

1 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- DIAL をまわして [4 SIGNALING] を選択し、(細胞) を押す メニューリストが表示されます。
- 3 DIALをまわして[1 TONE SQL FREQ]を選択し、(部)を押す
- 4 DIAL をまわして周波数を選ぶ
 参考 工場出荷時:88.5Hz
- 5 (品語)を1秒以上押す
 トーン周波数が設定され、もとの画面に戻ります。
 参考 (BACK)を3回押しても戻ります。



TONE SQL FREQ
85.4 Hz ▶[88.5 Hz] 91.5 Hz 94.8 Hz

トーンスケルチを使う

1 (副部)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

2 DIALをまわして[4 SIGNALING]を選択し、 (器器) を押す

メニューリストが表示されます。

- BIALをまわして[4 SQL TYPE]を選択し、 (2018)
 を押す
- 4 DIALをまわして[TONE SQL]を選択し、(温麗)を 1 秒以上押す
 - 参考・DIAL を回すと、スケルチタイプが次の順で切り替わ ります。

[OFF][TONE ENCJ[TONE SQL][REV TONE] [DCS][PR FREQ][PAGER][DCS ENC] * [TONE DCS]*[DCS TSQL]*[JR FREQ]

※これらのスケルチタイプは、セットアッ プメニューの[4 SIGNALING] →[9 SQL EXPANSION]を[1 ON]にすると表示されるよう になります。

・上記手順1~4以外にも、 TxPO を1秒以上押すた びにスケルチタイプが切り替わります。

ディスプレイに**TER**が表示されます。設定した周 波数のトーン信号を受信したときにだけスケルチが 開きます。

同じトーン信号を含んだ電波を受信したときにベル音(ビープ音)を鳴らすことができます。29 ページの「相手からの呼び出しをベルで知らせる」を参照してください。



トーン信号を送出する

1 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

2 DIALをまわして[4 SIGNALING]を選択し、(細胞) を押す

メニューリストが表示されます。

- DIALをまわして[4 SQL TYPE]を選択し、 (温麗) を押す
- 4 DIALをまわして[TONE ENC]を選択し、 (2007)を 1 秒以上押す
 - **参考**・DIAL を回すと、スケルチタイプが次の順で切り替わ ります。

[OFF][TONE ENC][TONE SQL][REV TONE] [DCS][PR FREQ][PAGER][DCS ENC] * [TONE DCS]*[DCS TSQL]*[JR FREQ]

※これらのスケルチタイプは、セットアッ プメニューの[4 SIGNALING] →[9 SQL EXPANSION]を[1 ON]にすると表示されるよう になります。

- ・上記手順1~4以外にも、(TXPO)を1秒以上押すた びにスケルチタイプが切り替わります。
- ディスプレイに**三日に**が表示されます。

 マイクロホンの[PTT]を押す [PTT]を押している間、トーン信号を含んだ電波を 送信します。

SETUR MERU (1/2) 1 DISPLAY 5 SCAN 2 TX/RX 6 GM 3 MEMORY 7 WIRES-X 4#SIGNALING 8 CONFIG
SETUP MENU (1/2) 1 DISPLAY 5 SCAN 2 TX/RX 6 GM 3 MEMORY 7 WIRES-X 4#SIGNALING 8 CONFIG
SETUP MENU (1/2) 1 DISPLAY 5 SCAN 2 TX/RX 6 GM 3 MEMORY 7 WIRES-X 4+SIGNALING 8 CONFIG SETUP MENU (SIGNALING) 9 1 TONE SOL FREQ 2 DCS CODE 3 AUTO DIALER 4+SQL TYPE
SETUP MENU (1/2) 1 DISPLAY 5 SCAN 2 TX/RX 6 GM 3 MEMORY 7 WIRES-X 4 SIGNALING 8 CONFIG SETUP MENU (SIGNALING) 9 1 TONE SOL FREQ 2 DCS CODE 3 AUTO DIALER 4 SQL TYPE
SETUP MENU (1/2) 1 DISPLAY 5 SCAN 2 TX/RX 6 GM 3 MEMORY 7 WIRES-X 4+SIGNALING 8 CONFIG SETUP MENU (SIGNALING 1 9 1 TONE SQL FREQ 2 DCS CODE 3 AUTO DIALER 4+SQL TYPE SQL TYPE LIDNE ENC 1

デジタルコードスケルチを使う

本機は DCS (Digital Coded Squelch)機能を搭載しており、設定した DCS コードと同じコードを含んだ信号を受信したときにときにだけ音声を聞くことができます。あらかじめ相手局と DCS コードをあわせておくことにより、静かな待ち受けができます。



DCSは、デジタルモードでは動作しません。はじめに **P**x キーを使って通信モードを AMS(オートモードセレクト機能)またはアナログモード(FM)に切り替えてください。

DCS コードを設定する

DCS コードは 023 ~ 754 の 104 種類から選べます。

1 (
聖歌)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。



- DIAL をまわして[2 DCS CODE]を選択し、 (編集) を押す
- 4 DIAL をまわして DSC コードを選ぶ
 参考 工場出荷時:023
- (品語)を1秒以上押す
 トーン周波数が設定され、もとの画面に戻ります。
 参考(BACK)を3回押しても戻ります。

BACK (CENT)
SETUR MENU (1/2) 1 DISPLAY 5 SCAN 2 TX/RX 6 GM 3 MEMORY 7 WIRES-X 4 SIGNALING 8 CONFIG
SETUP MENU (SIGNALING) 9 1 TONE SQL FREQ 24DCS CODE 3 AUTO DIALER 4 SQL TYPE
DCS CODE ▶[023] 025 026 026 031

DCS を使う

1 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

2 DIALをまわして[4 SIGNALING]を選択し、 (器器) を押す

メニューリストが表示されます。

- DIALをまわして[4 SQL TYPE]を選択し、 (温電) を押す
- 4 DIALをまわして[DCS]を選択し、(2008)を1秒以 上押す
 - 参考 · DIAL を回すと、スケルチタイプが次の順で切り替わ ります。

[OFF][TONE ENC][TONE SQL][REV TONE] [DCS][PR FREQ][PAGER][DCS ENC] * [TONE DCS]*[DCS TSQL]*[JR FREQ]

※これらのスケルチタイプは、セットアッ プメニューの[4 SIGNALING] →[9 SQL EXPANSION]を[1 ON]にすると表示されるよう になります。

・上記手順1~4以外にも、 TxPO を1秒以上押すた びにスケルチタイプが切り替わります。

ディスプレイに

設定した DCS コードを受信したときにだけスケル チが開きます。

参考 同じ DCS コードを含んだ信号を受信したときにベル音(ビープ音)を鳴らすことができます。29 ページの「相手からの呼び出しをベルで知らせる」を参照してください。

(
1 DISPLAY 5 SCAN 2 TX/RX 6 GM 3 MEMORY 7 WIRES-X 4#SIGNALING 8 CONFIG
<u>SETUP MENU (SIGNALING)S</u> 1 TONE SQL FREQ 2 DCS CODE 3 AUTO DIALER 4∳SQL TYPE
SETUP MENU (SIGNALING) S 1 TONE SQL FREQ 2 DCS CODE 3 AUTO DIALER 4♦SQL TYPE
SOL TYPE

新ページャー機能を使う

2つの CTCSS トーンを組み合わせたページャーコードを使って、特定の局だけを呼び 出す機能です。



新ページャー機能は、デジタルモードでは動作しません。はじめに (P)キーを使って通信 モードを AMS (オートモードセレクト機能)またはアナログモード (FM) に切り替えてください。

自局のコードを設定する

1 (
副語)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

2 DIALをまわして[4 SIGNALING]を選択し、(温麗) を押す

メニューリストが表示されます。

DIALをまわして[6 PAGER CODE]を選択し、
 (副部)を押す
 コードを設定する画面が表示されます。

- DIAL をまわして [RX CODE 1] 選択し、 (温歌) を押 す
 コードが点滅します。
- 5 DIALをまわしてコードを選び、(2007)を押す
 1 つ目のコードを 01 ~ 50 のなかから選びます。
 参考 工場出荷時:05
- 6 DIAL をまわして [RX CODE 2] 選択し、 (部部) を押 す
 - コードが点滅します。
- 7 DIALをまわしてコードを選び、(品部)を押す
 2 つ目のコードを 01 ~ 50 のなかから選びます。
 参考 工場出荷時:47



PAGER CODE	
▶RX_CODE1[05]	_
RX_CODE2[47]	
TX CODE1[05]	
TX_CODE2I 47 1	

PAGER CODE	
RX CODE1[05]	
▶RX CODE2[47]	
<u>TX CODE1[05]</u>	
TX_CODE2[47]	

8 (20187)を1秒以上押す 自局のコードが設定され、もとの画面に戻ります。 参考 (BACK)を3回押しても戻ります。



を押す

・2つのコードは、「05 47」と「47 05」のように、違う順番でも同じコードとして認識します。 ・3 局以上で同じコードに設定すると、グループ全員を一斉に呼び出せます。

■新ページャー機能を動作させる

1 (**PRP**)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- 2 DIAL をまわして [4 SIGNALING]を選択し、(品語) Internet (1/2) メニューリストが表示されます。
- DIALをまわして[4 SQL TYPE]を選択し、(2008) 3 を押す

1 DISCLAY 5 SCHN 2 TX/RX 6 GM 3 MEMORY 7 WIRES-X 4∳SIGNALING 8 CONFIG
SETUP MENU (SIGNALING) 9 1 TONE SQL FREQ 2 DCS CODE 3 AUTO DIALER 4 SQL TYPE
SQL TYPE
[PAGER]

BANE

4 DIAL をまわして [PAGER] を選択し、(**課**)を1秒 以上押す

参考・DIAL を回すと、スケルチタイプが次の順で切り替わります。 [OFF][TONE ENC][TONE SQL][REV TONE][DCS][PR FREQ][PAGER][DCS ENCJ*[TONE DCSJ*[DCS TSQLJ*[JR FREQ] ※これらのスケルチタイプは、セットアップメニューの[4 SIGNALING]→[9 SQL EXPANSION]を[1 ON]にすると表示されるようになります。

・上記手順1~4以外にも、(TXPO)を1秒以上押すたびにスケルチタイプが切り替わります。 ディスプレイに日間が表示されます。

操作バンドがページャーでの待ち受け状態になります。

特定の局を呼び出す

1 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- DIAL をまわして[4 SIGNALING]を選択し、 (温暖) を押す メニューリストが表示されます。
- DIALをまわして[6 PAGER CODE]を選択し、
 (温歌)を押す
 コードを設定する画面が表示されます。
- DIAL をまわして[TX CODE 1]選択し、(2007)を押す
 コードが点滅します。
- DIALをまわしてコードを選び、(細胞)を押す
 1 つ目のコードを 01 ~ 50 のなかから選びます。
 参考 工場出荷時:05
- DIAL をまわして[TX CODE 2]選択し、(温野)を押す
 コードが点滅します。
- 7 DIALをまわしてコードを選び、(部部)を押す
 2 つ目のコードを 01 ~ 50 のなかから選びます。
 参考 工場出荷時:47
- 8 (温部)を1秒以上押す
 相手のコードが設定され、もとの画面に戻ります。
 参考 (BACK)を3回押しても戻ります。
- 27 ページの「新ページャー機能を動作させる」を参照し、PAGER機能を動作 させる

28

10 マイクロホンの [PTT]を押す 相手局を呼び出します。





PAGER CODE
RX CODE1[05]
I _ RX_CODE2L471
▶ <u>TX CODE1[05]</u>
TX CODE2[47]

PAG	SER CODE
RX	CODE1[05]
RX RX	CODE2[47]
<u> 18</u>	CODE1[05]
I ⊫NX	CUDE2L471

相手からの呼び出しをベルで知らせる

トーンスケルチ、DCS、新ページャーでの通信のとき、相手局から信号を受信したことを知らせるため、ベル音(ビープ音)を鳴らすことができます。

1 (
2020)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。



2 DIALをまわして[4 SIGNALING]を選択し、 (2007) を押す

メニューリストが表示されます。

- DIALをまわして[8 BELL RINGER]を選択し、
 (2007)を押す
- 4 DIAL をまわしてベルが鳴る回数を選ぶ

 [1 OFF][2 1 time][3 3 times][4 5 times][5 8 times][6 CONTINUOUS(連続)]
 参考 工場出荷時: 1 OFF
- (2007)を1秒以上押す
 ベル音が設定され、もとの画面に戻ります。
 (BACK)を3回押しても戻ります。

その他のスケルチ機能

●リバース トーン

セットアップメニューの[4 SIGNALING]→[4 SQL TYPE]で[REV TONE]を選択 します。

音声がないときにトーン信号が送出され、音声が入るとトーン信号が消える通信方式です。

●JR 以外の空線スケルチ

セットアップメニューの[4 SIGNALING]→[4 SQL TYPE]で[PR FREQ]を選択します。

特定の空線信号を受信したときに、空線信号音を消して待ち受けすることができます。 空線信号は、セットアップメニューの「4 SIGNALING」→「7 PRG REV TONE」で、 300Hz ~ 3000Hz の間の周波数を 100Hz 単位で設定できます。

●JR の空線スケルチ

セットアップメニューの[4 SIGNALING]→[4 SQL TYPE]で[JR FREQ]を選択します。

JR の鉄道無線で通話していないときに聞こえる、「ピー」という 2280Hz の空線信号音 を消して待ち受けすることができます。

●DCS 送信

セットアップメニューの[4 SIGNALING]→[4 SQL TYPE]で[DCS ENC]を選択します。

送信時に DCS コードを送出します。

セットアップメニューの[4 SIGNALING]→[9 SQL EXPANSION]を[1 ON]にした ときにだけ使うことができます。

●トーン送信 /DCS 受信

セットアップメニューの[4 SIGNALING]→[4 SQL TYPE]で[TONE DCS]を選択 します。 送信時はトーン信号を送出し、受信時は DCS で待ち受けします。 セットアップメニューの[4 SIGNALING]→[9 SQL EXPANSION]を[1 ON]にした ときにだけ使うことができます。

●DCS 送信 / トーン受信

セットアップメニューの**[4 SIGNALING]→[4 SQL TYPE]**で**[DCS TSQL]**を選択 します。

送信時は DCS コードを送出し、受信時はトーンスケルチで待ち受けします。 セットアップメニューの[4 SIGNALING]→[9 SQL EXPANSION]を[1 ON]にした ときにだけ使うことができます。



DTMF 機能を使う

DTMF (Dual Tone Multi Frequencies)は、プッシュホン回線の電話をかけたときに 受話器から聞こえる[ピッポッパッ]音のことです。本機は、マイクロホンのキーを使っ たりメモリーを呼び出したりして、DTMF コード送出できます。

メモリーには最大16桁のDTMFコードを9チャンネルまで登録できます。フォーン パッチから公衆回線に接続するときに使う電話番号などを登録しておくと便利です。

DTMF コードは次のような周波数の組み合わせで発信されます。



	1209Hz	1336Hz	1477Hz	1633Hz
697Hz	1	2	3	А
770Hz	4	5	6	В
852Hz	7	8	9	С
941Hz	*	0	#	D

DTMF コードを登録する

- 1 (温齢)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIAL をまわして[4 SIGNALING] を選択し、
 (副部)を押す
 メニューリストが表示されます。
- DIALをまわして[5 DTMF MEMORY]を選択し、
 (2007)を押す
 DTMF メモリー画面が表示されます。
- 4 DIALをまわして登録するチャンネルを選択し、 (金融)を押す 右側の[||||||||||||||||]の左端にカーソルが移動します。
- 5 DIALをまわして DTMF コードを選択し、 を 押す(上に ● が表示されています)
 参考 DTMF コードは、マイクロホンの文字キーでも入力で きます。
- **6** 手順5を繰り返す
 - 参考・カーソルを左に移動する場合、 を押します(上に → が表示されています)。
 ・入力した文字を削除してカーソルを左に移動する場
 - 合、(認定)を押します(上に)のなどには勤労な場 す)。
- 7 (品部)を押す
 DTMF コードが設定されます。
 参考 続けてほかのチャンネルを登録するときは、手順4~

6 を繰り返します。

EETUP MEXU (1478) 1 DISPLAY 5 SCAN 2 TX-RX 6 GM 3 MEMORY 7 WIRES-X 4≱SIGNALING 8 CONFIG
SETUP MENU (SIGNALING 1 3) 5 DTMF MEMORY 6 PAGER CODE 7 PRG REU TONE 8 BELL RINGER
DTMF MEMORY



DTMF 機能を使う

(品部)を1秒以上押す
 DTMFコードが設定され、もとの画面に戻ります。
 参考(BACK)を3回押しても戻ります。

登録した DTMF コードを送出する

- 1 (2008)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIAL をまわして[4 SIGNALING]を選択し、(副部) を押す メニューリストが表示されます。
- DIALをまわして[3 AUTO DIALER]を選択し、
 (2部)を押す
 AUTO DIALER 画面が表示されます。
- DIAL をまわして「1 ON」を選ぶ
 DIAL をまわすたびに「1 ON」「2 OFF」が切り替わります。

SETUP MEN	U (1/2)
1 DISPLAY	5 SCAN
I Z IX/RX S MEMORV	6 GM 7 WIRES-X
Ă∳ŠĨĠŇÄĹING	Ś ČÓNFĬG^

SETUP MENU	ISIGNALING	1	9
1 TONE SQL	FREQ		
2 DCS CODE			
3⊫AUTO_DIAL	.ER		
4 SQL TYPE			

1▶ON	
2 OFF	

- (2007)を1秒以上押す
 もとの画面に戻ります。画面の右上にでが表示されます。
 参考 (BACK)を3回押しても戻ります。
- 6 マイクロホンの[PTT]を押したまま、マイクロホンの数字キーで、送出する DTMF コードを登録したチャンネルの番号を押す 自動的に DTMF コードが送出されます。
- 7 マイクロホンの[PTT]を放す DTMF コード送出中は、[PTT]を放しても送信状態を保持します。

マニュアルで DTMF コードを送出する

- 1 (品語)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわして[4 SIGNALING]を選択し、(副部) を押す

メニューリストが表示されます。

- DIALをまわして[3 AUTO DIALER]を選択し、
 (2087)を押す
 AUTO DIALER 画面が表示されます。
- 4 DIALをまわして[2 OFF]を選ぶ DIALをまわすたびに[1 ON][2 OFF]が切り替わ ります。

SETUP MEN	U (1/2)
1 DISPLAY	5 SCAN
2 <u>TX/RX</u>	<u>6 GM</u>
3 MEMORY	7 WIRES-X
4♦SIGNALING	8 CONFIG
·	

SETUP MENU [SIGNALING	1	2
1 TONE SQL FREQ		
2 DCS CODE		
3⊫AUTO DIALER		
4 SQL TYPE		
		-

AUTO	DIALER
1.0N_	
200FF	

DTMF 機能を使う

- 3 (品部)を1秒以上押す
 もとの画面に戻ります。画面の右上の一部が消灯します。
 参考 (MACK)を3回押しても戻ります。
- 6 マイクロホンの[PTT]を押したまま[0]~[9]、[*]、[#]、[A]~[D]を押す
- 7 マイクロホンの[PTT]を放すDTMF コード送出中は、[PTT]を放しても送信状態を保持します。
タイマー機能を使う

APO 機能を使う

APO(Automatic Power-off)機能をONにすると、一定の時間何も操作がなかったときに自動的に本機の電源が切れます。電源が切れる約1分前にビープ音で知らせます。車のバッテリーにつないでいるときなど、電源の切り忘れによるバッテリーの消耗を防ぐことができます。

- 1 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわして[8 CONFIG]を選択し、(2008)を 押す

メニューリストが表示されます。

- 3 DIALをまわして[13 APO]を選択し、(温暖)を押す 操作後電源が切れるまでの時間を選ぶ画面が表示さ れます。
- 4 DIAL をまわして電源が切れるまでの時間を選ぶ 次の14段階から選べます。
 - [0.5 hour][1.0 hour][1.5 hour][2.0 hour]
 - [3.0 hour][4.0 hour][5.0 hour][6.0 hour]
 - [7.0 hour][8.0 hour][9.0 hour][10.0 hour] [11.0 hour][12.0 hour]

参考「OFF」を選択すると、APO 機能は動作しません。

 3 (副部)を1秒以上押す APO機能がONになり、もとの画面に戻ります。
 参考 (BACK)を3回押しても戻ります。

4 SIGNALING 8⊫CONFIG

SETUP MENU [CONFIG	117
130APO	
14 TOT	
15 Bluetooth PAIRING	
16 GPS DATUM	

AP	0

[0.5 hour]

TOT 機能を使う

TOT(Timeout Timer)機能を ON にすると、送信状態が続いたときに、あらかじめ指定した時間が経過すると自動的に受信状態に戻ります。受信状態に戻る約10秒前にビープ音で知らせます。* 誤操作による不要電波の送出やバッテリーの消耗を防ぐことができます。

※ビープ音は通信モードが C4FM デジタルモードのときは鳴りません。

- 1 (2008)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわして[8 CONFIG]を選択し、(2007)を 押す

メニューリストが表示されます。

- DIAL をまわして[14 TOT]を選択し、(2009)を押す 自動的に受信状態に戻るまでの時間を選ぶ画面が表 示されます。
- 4 DIAL をまわして受信状態になるまでの時間を選ぶ 次の8段階から選べます。

	SETUP MEN	U (1/2)
1	DISPLAY	5 SCAN
12	TX/RX	<u>6 GM</u>
1 4		/ WIRES-X
4	SIGNALING	SPCONFIG



тот

[1 min]

[1 min][2 min][3 min][5 min][10 min] [15 min][20 min][30 min] 縁署 [OFF]を選択すると、TOT 機能は動作しません。

3 (3 (3)
 3 (8)
 3 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)
 5 (8)

 5 (8)
 5 (8)

 5 (8)

 5 (8)

 5 (8)

 5 (8)

 5 (8)

 5 (8)

 5 (8)

 5 (8)

 5 (8)

 5 (8)

 5 (8)

 5 (8)

 5 (8)

 5 (8)

 5 (8)

 5 (8)

 6 (8)

 6 (8)

 6 (8)
 7 (8)
 8 (8)
 8 (8)

 7 (<p

参考 BACK を3回押しても戻ります。

デジタルモードで運用中は、メッセージ(テキスト)や画像を受信できます。 送受信したメッセージや画像のリストは、共通のリストにメモリーされます。



メッセージや画像を受信するときは、あらかじめ
 、を押し、通信モードをAMS(オートモードセレクト機能)またはデジタルモードに切り替えてください。

● メッセージや画像を送信するときは、自動的にデジタルモードに切り替わります。 ● 画像を取り込むときは、本機に microSD カードをセットしてください(☞ P.1)。

デジタルモードには次の 3 種類があります。詳しくは基本編の「通信モードを切り替える」を 参照してください。

- ・V/D モード(音声 / データ同時通信モード)
- Voice FRモード(音声フルレートモード)
- ・Data FR モード(高速データ通信モード)

メッセージや画像のリストを見る

送受信したデータを一覧形式で見ることができます。また、一覧からデータを選んで内容を確認することができます。

1 Gm を1秒以上押す 「LOG SELECT」画面が表示されます。



[GM **I** MESSAGE] を選択した場合は、「GM MESSAGE」画面が表示されます。

[GM **回** PICT]を選択した場合は、「GM PICT」画 面が表示され、画像ファイルの一覧とタイムスタン プが表示されます。

● (上に INFO)が表示されています)を押すと、画像サイズ表示に切り替わります。● を押すたびに表示が切り替わります。

参考 アイコンの左に表示されている ■は、画像が正常に受信されていることを示します。

NEW	新しいメッセージの作成/送信
♠₀⊠	受信したメッセージ(未読)
● ₀Ē	受信したメッセージ(既読)
*₀⊟	送信したメッセージ
* x≘	送信に失敗したメッセージ
♠₀♥	受信した画像(未読)
* ₀■	受信した画像(既読)
+₀■	送信した画像
* x■	送信に失敗した画像

参考 LOG リスト左端のアイコンは、次のような内容を表しています。

参考・新しく取り込まれたデータほど一覧の上位に表示されます。

・ ₩ を押す(上に ▶ が表示されています)と、一覧の末尾を表示します。 データ件数が多い場合、末尾が表示されるまで時間がかかる場合があります。末尾が表示 される前に [PTT]を押すと、動作を途中でキャンセルすることができます。

- ・ 「TXPO)を押す(上に 「「」」」が表示されています)と、一覧の先頭を表示します。
- 3 DIALをまわして確認する情報を選択し、(2007)を押す 選択した情報が表示されます
- 4 BACK)を2回押す もとの画面に戻ります。

メッセージや画像を整理する

いらなくなったデータをメモリーや microSD カードから消去できます。

内容表示画面で消去する

- 1 消去したいデータの内容を表示する
- 2 GMを押す(上に 13) が表示されています) 確認画面が表示されます。

 DIALをまわして[OK?]を選択し、(部部)を押す 消去が始まります。
 消去が完了すると、データの一覧に戻ります。
 一覧のデータが1つずつ繰り上がります。
 消去を中止する場合は、[Cancel]を選択して(部部)を 押します。



- 覧から消去する

- 1 データの一覧で、DIAL をまわして消去したいデータを選ぶ
- 2 Gm を押す(上に 王王) が表示されています) 確認画面が表示されます。
- DIALをまわして[OK?]を選択し、(2008)を押す 消去が始まります。
 消去が完了すると、データの一覧に戻ります。
 一覧のデータが1つずつ繰り上がります。
 (2008)を選択して(2008)を



UH

メッセージや画像を取り込む

押します。

運用中の周波数で、デジタルモードで発信されたメッセージや画像がある場合、メッ セージまたは画像の内容が、本機のディスプレイに一定時間表示されます。また、メッ セージは本機のメモリーに、画像は本機にセットした microSD カードに取り込まれま す。

メッセージ受信時

画像受信時

) NF

SI JAIZRI

123.4 km 🖪 **432.**5



- ・ 画像データを受信中は、送信者のコールサインと、データの受信が完了するまでの 日安を記す ">>>" が表示されます。
- ・対応していない形式などのためにメッセージが取り込まれなかった場合は、「Not Completed」と表示されます。
- ・microSD カードの空き容量が足りないために画像が取り込まれなかった場合は 「Insufficient SD's Memory」と表示されます。



メッセージや画像を送る

本機からメッセージや画像を発信できます。発信したデータは、同じ周波数でデジタル モードで運用しているすべての局で受信されます。 データを送る方法には、次の3種類があります。 (1)新規にメッセージを作成して送る (2)取り込まれたメッセージや画像に返信(REPLY)する

(3) 取り込まれたメッセージや画像を転送(FORWARD)する

メッセージを作成して送る

新規に作成した MESSAGE を送信します。

1 Gm を1秒以上押す 「LOG SELECT」画面が表示されます。

DIALをまわして[GM ● MESSAGE]を選択し、
 (温暖)を押す

[GM MESSAGE]画面が表示されます。

- 3 DIALをまわして[NEW]を選択し、 鍵部 を押す
- 5 基本編の「文字を入力する」を参照し、メッセージを入力する
- 6 BACK を押す メッセージの全文が表示されます。
 - 参考・入力したメッセージを保存する場合は を押します(上に → か表示されています)。詳細は、41 ページの[定型文を登録する]を参照してください。



top end



অহা হলে

7 (

7 (

急慢)を押す(上に

が表示されています)

<br



参考 送信を中止する場合は(BACK)を押します。

メッセージの送信が完了すると[Completed]と表示され、メッセージー覧画面 に戻ります。送信したメッセージのタグが、一覧の先頭に追加されます。

定型文を使う

本機には、次のような43このメッセージ用定型文があらかじめメモリーされていますので、文字入力の手間を省くことができます。

QRM	Merry Christmas!	OK!
QRP	レンラク クタ゛サイ	NG!
QRT	MSG オクッテ	リョウカイ!
QRX	PICT オクッテ	יעא ״ב!
QRZ	マタ MSG オクルネ	9°19°307°1
QSY	マタ PICT オクルネ	モウスコシマッテテネ
アリガトウゴザイマシタ	オクレマス	17 QSO デキナ1
オハヨウコ゛サ゛イマス	シ゛ュウタイテ゛オクレマス	モウシワケアリマセン
オツカレサマテ゛ス	スク゛イキマス	30୬クオネカ゛イシマス
オヒサシフ゛リテ゛ス	マッテマス	ヘンコウシマス
コンニチル	ムカエニキテ!	チュウシシマス
אע געע	カ゛ンハ゛ッテ !!	エンキシマス
オヤスミナサイ	Thank you!	シキュウ
Happy birthday!	<u> アリカ゛トウ</u>	
A HAPPY NEW YEAR	コ゛メンナサイ	

- 1 39 ページの「メッセージを作成して送る」の手順1~3にしたがってメッセージ 詳細画面を表示する
- 2 (WW)を押す(上に が表示されています) ディスプレイ上部に定型文が表示されます。

参考 [01] ~[10]には、最大16文字のテキストを登録でき ます。詳細は、41 ページの「定型文を登録する」を参 照してください。

3 DIAL をまわして使用する定型文を選択し、(2008)を 押す

定型文がメッセージテキストとして表示されます。



.

4 (₩)を押す(上に → が表示されています) ディスプレイ上部の定型文が消えます。



5 文字を追加する場合は、39 ページの「メッセージを作成して送る」の手順4~5 にしたがって文字を入力する

●定型文を登録する

最大 80 文字のテキストを、10 個まで定型文として登録できます。 登録したテキストは、あらかじめ用意されている 43 個の定型文と同じように選んで使 用できます。

1 39 ページの「メッセージを作成して送る」の手順1~5にしたがってテキストを 入力する

参考英数字、記号、カナが使用できます。

- 2 BACK を押す

4 DIAL をまわして登録する番号を選択し、 (品語) を押 す

参考 [01]~[10]まで選択できます。

テキストが定型文としてメモリーされ、定型文欄が 消えます。

- 参考・すでに定型文が登録されている番号に登録すると、以前の定型文は上書きされます。
 - ・登録を中止する場合は、もう一度



メッセージや画像に返信(REPLY)する

確認した MESSAGE や PICT の差し出し局に返信します。

- 1 Gmを1秒以上押す 「LOG SELECT」画面が表示されます。
- 2 DIALをまわして[GM C MESSAGE]または[GM
 PICT]を選択し、(温歌)を押す
 [GM C MESSAGE]を選択した場合は、「GM MESSAGE]画面が表示されます。
 [GM C PICT]を選択した場合は、「GM PICTI画

● COC SELECT ● Co- ® MESSAGE Co- ® PICT APRS STATION LIST APRS MESSAGE LIST

[GM **回** PICT] を選択した場合は、「GM PICT」画 面が表示されます。

3 DIALをまわして返信する情報を選択し、(2007)を押す 選択した情報が表示されます。

[MESSAGE の場合]

[PICT]の場合



- 4 **●** を押す(上に**派**)が表示されています) メッセージ入力画面が表示されます。
- 5 返信メッセージを入力する

39 ページの「メッセージを作成して送る」の手順を参照して、返信メッセージを 入力します。

- 参考 ·返信(REPLY)の場合は、自動的に MESSAGE/PICT の差し出し局のコールサインが宛先 に指定されます。
 - ・差し出し局のコールサイン(名前)が宛先に指定されても、同じ周波数でGM運用中の交信 圏内にいる局は、メッセージまたは画像を見ることができます。
- 6 BACK を押す

メッセージの全文が表示されます。

7
います(上に)
近日日の表示されています)

メッセージが返信されます。メッセージ、または画像の送信が完了すると 「Completed」と表示され、メッセージー覧画面、または画像一覧画面に戻ります。

メッセージや画像を転送(FORWARD)する

確認した MESSAGE や PICT を転送します。

- 1 Gm を1秒以上押す 「LOG SELECT」画面が表示されます。

ESI® ► DEMESSAGE G. ■ PICT APRS STATION LIST APRS MESSAGE LIST

> ቊ団JÄĬZRL-001 ቊ国JA1YOE-GM

103**1**9 (3 (6))

18:00 04/14

GM MESSAGE ENEW

जन्म जग्र

[GM **■** PICT] を選択した場合は、「GM PICT」画 面が表示されます。

DIAL をまわして転送する情報を選択し、(2008)を押す

選択した情報が表示されます。

[MESSAGE の場合]

[PICT]の場合



- 4 (₩)を押す(上に ► □□ が表示されています)
 「SEND "to: ALL"」と表示されます。
- 5 DIAL をまわして [OK?] を選択し、(2087) を押す メッセージまたは画像が送信されます。メッセー ジ、または画像の送信が完了すると「Completed」 と表示され、メッセージー覧画面、または画像一覧 画面に戻ります。



必要に応じて使う機能

本機のデータをほかの無線機にコピーする

メモリーチャンネルやセットアップメニューの設定内容などを、別の FTM-100D また は FTM-100DH にコピーできます。よく交信する仲間同十と設定を合わせるときなど に便利です。

microSD カードを使う

microSD カードを使うと、FTM-100D または FTM-100DH に保存されているデータ の種類を選んでコピーできます。

■ データを microSD カードにコピーする

- 1 microSD カードを本体に装着する 参考 2 ページの[microSD カードを取り付ける]を参照してください。
- (副部)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- DIAL をまわして**[11 SD]**を選択し、(**課**)を押す 3 メニューリストが表示されます。
- 4 DIAL をまわして[1 BACKUP]を選択し、(品語)を 押す コピー方向を選ぶ画面が表示されます。
- DIALをまわして[1 Write to SD]を選択し、 5 (副部)を押す コピーするデータの種類を選ぶ画面が表示されま す。 「1 ALL」: すべてのデータをコピーします。 [2 MEMORY]: メモリーチャンネルだけをコピーします。 「3 SETUP1: セットアップメニューの設定内容だけをコピーします。
- DIALをまわしてコピーするデータを選択し、(SPSP) 6 を押す

確認画面が表示されます。





BACKUP	
1⊭Write to SD 2 Read from SD	

BACKUP	-WRITE
1⊫ALL 2 MEMORY 3 SETUP	

本機のデータをほかの無線機にコピーする

- 7 DIALをまわして[OK?]を選択し、(ABB)を押す 手順6で選んだデータが microSD カードにコピー されます。コピー中は、「Writing・・・」が表示され、 コピーが完了すると表示が消えます。
- 8 (品記)を1秒以上押す
 もとの画面に戻ります。

microSD カードからデータをコピーする

- microSD カードをコピー元の FTM-100D または FTM-100DH に装着して、デー タをコピーする
- 2 microSD カードを取り外し、コピー先の FTM-100D または FTM-100DH に装着 する
- 3 (温暖)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- 4 DIALをまわして[11 SD]を選択し、(温暖)を押す メニューリストが表示されます。
- 5 DIALをまわして[1 BACKUP]を選択し、 (2007)を 押す つい、 たのた器ご両面がまデされます

コピー方向を選ぶ画面が表示されます。

- DIAL をまわして[2 Read from SD] を選択し、
 (温暖)を押す
 コピーするデータの種類を選ぶ画面が表示されます。
- 7 DIALをまわしてコピーするデータを選択し、(器)を押す
 - 1 ALL: すべてのデータをコピーします。
 - 2 MEMORY: メモリーチャンネルだけをコピーします。
 - 3 SETUP:セットアップメニューの設定内容だけをコピーします。
 - 4 MEMORY (Import FTM-400D):

FTM-400D の microSD カードにコピーされたメモリーチャンネルをコピー します。

注意 FTM-400D でメモリーチャンネルをコピーした microSD カードを装着してください。 確認画面が表示されます。

8 DIALをまわして[OK?]を選択し、(ABB)を押す 手順7で選んだデータが microSD カードからコ ピーされます。コピー中は、「Reading・・・」が表 示され、コピーが完了すると表示が消えます。

BACKUP DEAD	
1⊫ALL 2 MEMOR: ⊫OK? 3 SETUP 4 MEMORY(Import	FTM-400D>

BACKUP 1+ALL 2 MEMORY 3 SETUP Cancel

SETUP	MENU	(2/2)
9 DATA	13	RSTZCI ONE
10 OPPS	īā	COLLSTON
11 MGD		
15 65 100		
IZ OFIION		

SETUP MENU (SD	1
1 BACKUP	
2 FORMAT	

BACKUP	
1 Write to SD 20Read from SD	
ZWREad IT ON SD	

BACKUP -READ	
3 SETUP	
4 MEMORY(Import	FTM-400D)

本機のデータをほかの無線機にコピーする

クローン機能を使う

クローン機能を使うと、本機に保存されているデータすべてを別の FTM-100D または FTM-100DH に直接コピーできます。

例:2台の FTM-100D でクローン機能を使う場合

- 1 2台の FTM-100D の電源を切る
- 2 オプションのクローンケーブル[CT-166]を本体後 面の[DATA]ジャックにそれぞれ差し込む



- 3 2台の FTM-100D の電源を入れる
- 4 (副部)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- 5 DIALをまわして[13 RST / CLONE]を選択し、 (温暖)を押す メニューリストが表示されます。
- 6 DIALをまわして[7 CLONE]を選択し、(2018)を押す

コピー方向を選ぶ画面が表示されます。

- 7 コピー元の FTM-100D で、DIAL をまわして[1 This radio → other]を選択し、(温認)を押す 確認画面が表示されます。
- 8 コピー先の FTM-100D で、DIAL をまわして[2 Other → This radio]を選択し、 (2018)を押す
 確認画面が表示されます。
- コピー先の FTM-100D で、DIAL をまわして[OK?]
 を選択し、(2018)を押す
- 10 コピー元の FTM-100D で、DIAL をまわして[OK?] を選択し、(温麗)を押す データがコピーされます。 コピーが終わると[Completed]と表示されます。 コピー先の FTM-100D は自動的に再起動し、コ ピーされたデータに基づいた画面が表示されます。











本機のデータをほかの無線機にコピーする

- 11 コピー元の FTM-100D で、(2007)を1 秒以上押す もとの画面に戻ります。
- 12 2 台の FTM-100D の電源を切り、クローンケーブルを抜く
 - コピー(クローン)操作中に[ERROR]と表示された場合は、クローンケーブルの接続を確認し、はじめから操作をやり直してください。



- 安全のため、大事なデータは microSD カードにバックアップしておくことをお勧めします。
- コピー(クローン)操作中に電源不良で異常終了した場合は、コピー先の FTM-100D が自 動的にオールリセットされます。電源に異常がないか確認して、はじめから操作をやり直 してください。

付属の PC コネクションケーブル[SCU-20]などを使うと、COM ポートとして本機を パソコンなどと接続し、次のようなことに利用できます。

- ・ 自局の位置情報をパソコンに転送して地図ソフトに取り込む
- •本機のファームウェアをアップデートする
- ・パケット通信を運用する

0000

(4

(5)

CCC2411145555

[DATA]

パソコンなどとの接続には、本体後面の[DATA]ジャックを使います。[DATA]ジャックの端子配置は次のようになっています。

- ① PKD(パケットデータインプット)
- 2 GND
- ③ PSK(PTT)
- ④ RX 9600(9600bps パケットデータアウトプット)
- ⑤ RX 1200(1200bps パケットデータアウトプット)
- ⑥ PK SQL(スケルチ制御)
- ⑦ TXD(シリアルデータアウトプット[無線機→ PC])
- ⑧ RXD(シリアルデータインプット[無線機← PC])
- CTS(データ通信制御)
- 10 RTS(データ通信制御)



●準備するもの

- ・パソコン
- PC コネクションケーブル[SCU-20](付属)… パソコンの USB 端子に接続する場合



- ・必ず本機の電源を切ってから接続してください。
- PC コネクションケーブル[SCU-20]を使用する場合は、パソコンに専用のドライバーをインストールする必要があります。ドライバーとインストールマニュアルは、当社ウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

・データケーブル「CT-165」(オプション)… パソコンの RS-232C 端子に接続する場合





・必ず本機の電源を切ってから接続してください。
 ・PCコネクションケーブル[SCU-20]を使用する場合は、パソコンに専用のドライバーをインストールする必要があります。ドライバーとインストールマニュアルは、当社ウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

自局の位置情報を送出する

- 1 本機の電源を入れる
- 2 (副部)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- 3 DIALをまわして[9 DATA]を選択し、(2018)を押す メニューリストが表示されます。
- DIAL をまわして[1 COM PORT SETTING]を選択し、(部)を押す
 詳細な設定のための画面が表示されます。



5 DIALをまわして[COM OUTPUT]を選択し、 (編) を押す

COM	PORT SETTING	
COM	SPEED_I 9600bps	1
⊧ ⊫com_		1
	URMHI INMEH 9 TITERIAII	÷
WP F WP F	ILTER I ALL	

- 6 DIAL をまわして[GPS OUT]を選択し、(細部)を押す 次のように切り替わります。
 [OFF]→[GPS OUT]→[PACKET]→[WAYPOINT]
 参響 工場出荷時: OFF
- 7 DIALをまわして[COM SPEED]を選択し、 (編8) を押す

COM PORT SETTING	
▶COM SPEED I9600bps]
COM OUTPUTIOFF]
WP FORMAT INMEA 9	1
WP FILTER I ALL	1

 8 DIAL をまわして通信速度を選択し、(2007)を押す 次のように切り替わります。
 「4800 bps]→「9600 bps]→「19200 bps]→「38400 bps]→「57600 bps]

 「238100 bps]→「57600 bps]

 9 (2007)を1 秒以上押す

もとの画面に戻ります。

位置情報データの出力が始まり、約1秒間隔で自局の位置情報がパソコンに送出されます。

この位置情報を使うには、NMEA-0183 規格の GGA および RMC センテンスで動作するソフトウェアが必要です。

本機のファームウェアをアップデートする

本機のファームウェアが更新されたときは、パソコンと接続することによりアップデートできます。ファームウェアの更新版とアップデートマニュアルは当社ウェブサイトで 提供いたしますので、ダウンロードしてご利用ください。

パケット通信の送受信機として使う

TNC(ターミナルノードコントローラ)に本機を接続すると、本機を介してパケット通信ができます。

●準備するもの

- TNC
- ・パソコン
- データケーブル*… 接続する機器にあわせてご用意ください

※ 次のようなオプション製品をご提供しております。

• データケーブル[CT-167](オプション)









(9) -(10) -

• データケーブル[CT-163](オプション)



- PKD(パケットデータインプット)
 GND
- ③ PSK(PTT)
- ④ RX 9600(9600bps パケットデータアウトプット)
- ⑤ RX 1200(1200bps パケットデータアウトプット)
- ⑥ PK SQL(スケルチ制御)
- TXD(シリアルデータアウトプット[無線機→ PC])
- ⑧ RXD(シリアルデータインプット[無線機← PC])
- CTS(データ通信制御)
- 10 RTS(データ通信制御)

Dsub 9 ピン

- ① ② TXD(シリアルデータアウトプット[無線機→ PC])
- ③ RXD(シリアルデータインプット[無線機← PC])
- ④ –
- 5 GND 6 -
- ⑦ CTS(データ通信制御)
- ⑧ RTS(データ通信制御)
- (9) -

DIN 6ピン

- ① PKD(パケットデータインプット)
- 2 GND
- ③ PSK(PTT)
- ④ RX 9600(9600bps パケットデータアウトプット)
- ⑤ RX 1200(1200bps パケットデータアウトプット)
- ⑥ PK SQL(スケルチ制御)
- ・必ず本機の電源を切ってから接続してください。
- •TNC とパソコンの接続方法については、使用する TNC の取扱説明書などを参照してください。
- 参考
- ・パソコンが発生する雑音によって、受信が妨害される場合があります。
 正常に受信できない場合は、パソコンを本機から離し、フォトカプラーやノイズフィル
 ターを使って接続してください。

●パケット通信の動作を設定する

- 1 本機の電源を入れる
- 2 (副部)を1秒以上押す
 セットアップメニューが表示されます。
- 3 DIAL をまわして [9 DATA] を選択し、(品語) を押す メニューリストが表示されます。

SETUP	MENU	(2/2)
10 DATA	13	RST/CLONE
11 SD	1.4	CHLLOIUN
12 OPTION		

DIAL をまわして[1 COM PORT SETTING]を選択し、((2017)
 (2017)
 (2017)
 (注細な設定のための画面が表示されます。

SETUP MENU [DATA	1
1 COM PORT SETTING	
3 ĎÄTÄ ŠQŪEĽCH	

5 DIALをまわして[COM OUTPUT]を選択し、 (2007)を押す

COM PORT SETTING	
COM SPEED I 9600bps	1
♦COM OUTPUTIOFF	1
WP FORMAT INMEA 9	1
WP FILTER IALL	1

- 6 DIALをまわして「PACKET」を選択し、(部部)を押す 「OFF」→「GPS OUT」→「PACKET」→「WAYPOINT」
 参考 工場出荷時: OFF
- 7 DIALをまわして[COM SPEED]を選択し、 (編編) を押す

COM PORT SETTING	
▶COM SPEED I 9600bps	1
UUM UUTPUTTUFF WE EOEMAT INMEA 9	ł
WP FILTER I ALL	i

- 8 DIAL をまわして通信速度を選択し、(品部)を押す 次のように切り替わります。
 「4800 bps」→「9600 bps」→「19200 bps」→「38400 bps」→「57600 bps」
 参考 工場出荷時: 9600 bps
- 9 BACK を押す

- **10** DIALをまわして**[2 DATA SPEED]**を選択し、 (2017)を押す 詳細な設定のための画面が表示されます。
- 11 DIAL をまわして [DATA] を選択し、 (跳)を押す



- SETUP MENU (DATA) 1 COM PORT SETTING 2*DATA SPEED 3 DATA SQUELCH
 - DATA SPEED APRS:[1200 bps] DATA:[1200 bps]
- **12** DIAL をまわしてパケット通信の速度を選択し、(2008)を押す DIAL を回すたびに[1200 bps]と[9600 bps]が切り替わります。 参考 工場出荷時:1200 bps
- **13** BACK を押す
- **14** DIAL をまわして**[3 DATA SQUELCH]** を選択 し、(**SBP**)を押す 詳細な設定のための画面が表示されます。
- 15 DIAL をまわしてパケット通信のスケルチ検出方法 を選択し、(温暖)を押す

 「1 TX:ONJまたは[2 TX:OFF]を選択します。

 参考 工場出荷時:1 TX:ON

SETUP MENU I DATA	1
1 COM PORT SETTING 2 DATA SPEED	
3DATA SQUELCH	
DATA SQUELCH	
101X UN 2 TX OFF	

- 16 (温部)を1秒以上押す もとの画面に戻ります。 パケット通信ができる状態になります。
- 17 セットアップメニューでの設定に沿ってバンドと周波数を決める
- **18** VOL をまわす 本機から TNC への出力レベルが設定されます。
- **19** TNC の出力レベルを調節する 本機への入力レベルが設定されます。



大量のデータを転送するときには送信時間が長くなり、本機が発熱します。長時間送信し続けると、過熱防止回路が作動して送信出力が下がります。さらに送信を続けると、過熱による故障を防ぐために、自動的に送信が中止され、受信状態になります。

過熱防止回路が作動して受信状態になったときには、電源を切るか、受信状態のまま、温度 が下がるまでお待ちください。



オプションの「クーリングファン SMB-201」を使用すると、長時間の連続送信による本機の 発熱を、効率的に冷却できます。

接続できるその他の機器

●外部スピーカー

オプションの高出力・高音質防水型外部スピーカー「MLS-200-M10」を接続できます。 本体後面の[EXT SP]ジャックに外部スピーカーのプラグを差し込みます。



[EXT SP]ジャックに外部スピーカーを接続すると、内部スピーカーからは音が出なくなります。



本機の背面にある「EXT SP ジャック」に、オプションの MLS-200-M10 以外の外部スピー カーを接続する際は、必ずステレオタイプのスピーカーを使用してください(左側(L 側)しか 音は出ません)。モノラルタイプのスピーカーを接続すると、故障の原因になる場合があり ます。なお、モノラルタイプのスピーカーを使用する場合は、下図を参考に付属の"ステレ オ/モノラル変換プラグ"を使用してください。



使い方にあわせて設定を変える

セットアップメニューを使うと、本機のさまざまな機能を使い方にあわせてカスタマイ ズできます。表示、送受信、メモリー、機器構成などのメニューに分かれており、それ ぞれのリストの中から調節したい項目を選択して、使いやすい設定を入力したり選んだ りします。

セットアップメニューの基本操作

- 1 (2008)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわしてメニュー項目を選択し、(QBBP)を 押す
 メニューリストが表示されます。
- 3 DIALをまわして設定したい項目を選択し、(品語) を押す
- 4 DIAL をまわし、設定値を変える



SETUP	MENU [DISPLAY	1
1 IISUB	DISPLAY SELECT	
2 LCD	BRIGHTNESS	
3 220	CUNIRASI	
4 GPS	INFORMATION	

SUB	DISPLAY	SELECT
1⊫SUB 2 TIME 3 VOL	BAND T	

5 (2018)を1秒以上押すか、[PTT]を押します。 変更した設定値が確定し、もとの画面に戻ります。

参考 · GM キーを押しても、設定値を確定させ、もとの画面に戻ることができます。

- ・同じメニューのほかの項目を続けて設定するときは、(BACK)を押します。設定値を確定させ、メニューリストの画面に戻ります。
- ・すべての画面で(BACK)を押すと、もとの画面に戻ります。



 ・一度設定したメニュー項目を再び選択してメニューリストを表示したときは、前回設定した項目がすでに選ばれた状態の画面が表示されます。

・設定値を選択中、工場出荷時の設定になったとき、ビープ音が鳴ります。

セットアップメニュー一覧

		メニュー / 項目	機能説明	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)		
1 DI	1 DISPLAY					
	1	SUB DISPLAY SELECT	サブディスプレイの 表示内容の設定	SUB BAND / TIME / VOLT		
	2	LCD BRIGHTNESS	ディスプレイの明るさ の設定	MIN / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / MAX		
	3	LCD CONTRAST	ディスプレイのコント ラストの設定	-3 / -2 / -1 / 0 / +1 / +2 / +3		
	4	GPS INFORMATION	GPS 情報の切り替え	LOCATION / FREQUENCY		
2 TX	(/RX					
	1	ANALOG MODE SELECT	アナログモードの設定	AUTO / MANUAL(FM) / MANUAL (AM)		
	2	MIC GAIN	マイクロホンの感度設 定	MIN / LOW / NORMAL / HIGH / MAX		
	3	AMS TX MODE	送信モードの設定	AUTO / TX MANUAL / TX FM FIXED / TX DN FIXED / TX VW FIXED		
	4	DIGITAL SQL TYPE	デジタルモードでのス ケルチタイプ設定	OFF / CODE / BREAK		
	5	DIGITAL SQL CODE	デジタルモードでのス ケルチコード設定	CODE : 001 ~ 126		
	6	DIGITAL POPUP TIME	情報ポップアップ時間 の設定	OFF / 2 sec / 4 sec / 6 sec / 8 sec / 10 sec / 20 sec / 30 sec / 60 sec / CONTINUE		
	7	LOCATION SERVICE	デジタルモードでの自 局位置の表示設定	ON / OFF 機能の詳細は、GM 編 取扱説明書をご覧 ください。		
	8	STANDBY BEEP	スタンバイビープの設 定	ON / OFF		
	9	HALF DEVIATION	ハーフデビエーション の設定	ON / OFF		
3 MI	EMC	DRY		-		
	1	ALPHA TAG SIZE	メモリーチャンネルタ グの表示サイズ設定	SMALL / LARGE		
	2	MEMORY SCAN	メモリースキャン時の スキャン方法設定	ALL MEMORY / SELECT MEMORY		
4 SIGNALING						
	1	TONE SQL FREQ	トーン周波数の設定	67.0 Hz ~ 254.1 Hz 88.5 Hz		
	2	DCS CODE	DCS コードの設定	023 ~ 754		
	3	AUTO DIALER	DTMF コード自動送信 の設定	ON / OFF		
	4	SQL TYPE	スケルチタイプ設定 	OFF / TONE ENC / TONE SQL / REV TONE / DCS / PR FREQ / PAGER / DCS ENC* / TONE DCS* / DCS TSQL* / JR FREQ* *[4 SIGNALING]→[9 SQL EXPANSION] を[ON]に設定したときに表示されます。		
[5	DTMF MEMORY	DTMF コードの登録	1~9通り 各16文字		

メニュー / 項目		メニュー / 項目	機能説明	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
	6	PAGER CODE	ページャー個別コード	RX CODE 1:01~50 05
			の設定	RX CODE 2:01 ~ 50 47
				1000000000000000000000000000000000000
	7		の伯フケルイの乳白	$1\times CODE 2 \cdot 01 \sim 50 47$
	<u> </u>		2線人グルナの設止 「「「「「」」 立の同物部合	$300HZ \sim 3000HZ$ 1500HZ
	0	BELL RINGER	呼び出し音の回致設定	8 times / CONTINUOUS
	9	SQL EXPANSION	送受信で別々のスケル	ON / OFF
			チタイプの設定	
5 SC	CAN			-
	1	DUAL WATCH STOP	信号を受信する方法の	AUTO / HOLD
	_			
	2	SCAN DIRECTION	人キャン人タート時の	UP / DOWN
	2		スキャン方向の設定	
	3	SCAN RESUME	スキャンストック時の 動作設定	BUSY / HULD / I sec / 3 sec / 5 sec
	4	DUAL WATCH	デュアルレシーブ機能	0.3 sec ~ 10 sec 5.0 sec
		MODE	実行中の受信時間の設	
			定	
6 GM				
	1	RANGE RINGER	交信圏内局確認時のべ ル音の設定	OFF / ON
	2	MESSAGE POPUP	メッセージのポップ	OFF / ON
	2		アック衣小の設定 毎毎燃ぶとの田方 ID (5)	(炉集不可)
	3		桁の英数字)を表示	
※機	能の	詳細は、GM 編 取扱説明	月書をご覧ください	
7 WI	IRES	S-X		
	1	RPT/WIRES FREQ	レピータ /WIRES-X で	MANUAL / PRESET
			運用する周波数の設定	
			フリセット周波数の登	
		FREQ	並 来	$144.000 \sim 140.000$ 145.700 $130.000 \sim 440.000$
※櫟	能の	I 洋細は、WIRES-X 編 取	 扱説阳書をご覧ください	1400.000 440.000
8 CC	8 CONFIG			
	1	DATE & TIME	本機に内蔵されている	月/日/年 時:分
		ADJUST	日付、時刻の設定	
	2	TIME FORMAT	時刻の表示形式の設定	24 hour / 12 hour
	3	TIME ZONE	タイムゾーンの設定	UTC ± 14h(0.5 h 間隔)
				UTC +9:00
	4	AUTO REPEATER	オートレピータシフト の空空	OFF / ON
	F		リリマル	
	5		して 設定	REPEATER
	6	REPEATER SHIFT	レピータシフト幅の設	0.000 ~ 99.950MHz
		FREQ	定	

		メニュー / 項目	機能説明	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
	7	FM AM STEP	チャンネルステップの	AUTO / 5.00 KHz / 6.25 KHz /
			設定	(8.33 KHz) / 10.00 KHz / 12.50 KHz /
				15.00 KHz / 20.00 KHz / 25.00 KHz /
				50.00 KHz / 100.00 KHz
	8	BEEP	ビーブ音の設定	OFF / LOW / HIGH
	9	CLOCK TYPE	クロックシフトの設定	A/B
	10	MIC PROGRAM KEY	マイクロホンのPボタ	OFF / SQL TYPE / SCAN / HOME
			シ設定	/ DCS CODE / TONE FREQ / RPT
				IPR FREO / S-LIST / MSG / REPLY /
				M-FDIT
				※オプションのFVS-2装着時に表示されます。
				P1KEY : SQL OFF
				P2KEY : HOME
				P3KEY : D_X
				P4KEY : TX POWER
	11	RX COVERAGE	受信範囲拡張の設定	NORMAL / WIDE
	12	UNIT	表示する単位の設定	METRIC / INCH
	13	APO	APO 動作時間の設定	OFF / 0.5 hour~12.0 hour(0.5 h間隔)
	14	тот	タイムアウトタイマー	OFF / 1 min / 2 min / 3 min / 5 min /
	45			10 min / 15 min / 20 min / 30 min
	15	Bluetooth PAIRING	PIN コート設定とペア リング開始	0000~9999 6111
	16	GPS DATUM	GPS 機能の測位選択	WGS-84 / TOKYO MEAN
	17	GPS LOG	GPSの位置情報を記録	OFF / 1 sec / 2 sec / 5sec / 10 sec /
0.0			する間隔の設定	30 sec / 60 sec
9 D/		OOM DODT		
			していたートの設定	10200hpa / 28400hpa / 57600hpa
		SETTING		
				WP FORMAT : NMEA6 / NMEA7 /
				NMEA8 / NMEA9
				WP FILTER : ALL / MOBILE /
				FREQUENCY / OBJECT/ITEM /
				DIGIPEATER / VoIP / WEATHER /
				YAESU / CALL RINGER /
	2	DATA SPEED	APKS/DATA 遺信ホー	APRS : 1200 DDS / 9600 DDS
	2		レートの設定	
10.4	3 \D⊡9	DATA SQUELCH	ヘブルナ快出設正	
10 4			ADDS のコンパフ 動作	
	2	APRS DISTINATION	モデルコードの表示	APY***(編集不可)

メニュー / 項目		機能説明	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)	
3	APRS FILTER	フィルター機能の設定	Mic-E : ON / OFF POSITION : ON / OFF WEATHER : ON / OFF OBJECT : ON / OFF ITEM : ON / OFF STATUS : ON / OFF OTHER : ON / OFF RANGE LIMIT : OFF / 1 ~ 3000km ALT.NET : ON / OFF	
4	APRS MESSAGE TEXT	定型メッセージテキス トの入力	1~8 ch	
5	APRS MODEM	APRS 機能の ON/OFF	OFF / ON	
6	APRS MUTE	APRS 設定時の AF ミュートの ON/OFF 設 定	OFF / ON	
7	APRS POP-UP	ポップアップ表示させ るビーコンやメッセー ジの表示時間設定	BEACON : OFF / 3 sec / 5 sec / 10 sec / HOLD MESSAGE : OFF / 3 sec / 5 sec / 10 sec / HOLD MYPACKET : OFF / ON	
8	APRS RINGER	ビーコン着信時のベル 音設定	TX BEACON : ON / OFF TX MESSAGE : ON / OFF RX BEACON : ON / OFF RX MESSAGE : ON / OFF MY PACKET : ON / OFF CALL RINGER : ON / OFF RANGE RINGER : 1km ~ 100km / OFF MSG VOICE : ON / OFF	
9	APRS RINGER (CALL)	CALL RINGER 用コー ルサインの設定	1~8局(それぞれ ******-**)	
10	APRS TX DELAY	データ送出ディレイ時 間の設定	100 ms / 150 ms / 200 ms / 250 ms / 300 ms / 400 ms / 500 ms / 750 ms / 1000 ms	
11	APRS UNITS	APRS 表示の単位設定	POSITION : dd° mm.mm' /	
12	BEACON INFO SELECT	送信ビーコン情報の設 定	AMBIGUITY : OFF / 1 ~ 4 digit SPEED/COURSE : ON / OFF ALTITUDE : ON / OFF	

セットアップメニュー一覧

	メニュー / 項目	機能説明	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)	
13	BEACON STATUS TEXT	ステータステキストの 入力設定	SELECT : TEXT 1 ~ 5 / OFF TX RATE : 1/1 ~ 1/8 / 1/2(FREQ)~ 1/8(FREQ) TEXT 1 ~ 5 : NONE / FREQUENCY / FREQ & SQL & SHIFT	
14	BEACON TX	ビーコンの自動送信 / 手 動送信の切り替え	AUTO : OFF / ON / SMART INTERVAL : 30sec ~ 60min 5min PROPORTIONAL : ON / OFF DECAY : ON / OFF LOW SPEED : 1km/h ~ 99km/h 5km/h RATE LIMIT : 5sec ~ 180sec 60sec	
15	DIGI PATH SELECT	デジピータールートの 設定	OFF / WIDE1-1 / WIDE1-1,WIDE2-1	
16	MY CALLSIGN (APRS)	自局のコールサイン設 定	*****_**	
17	MESSAGE GROUP	受信メッセージのグ ループフィルター設定	GROUP 1 : ALL***** GROUP 2 : CQ****** GROUP 3 : QST***** GROUP 4 : YAESU**** GROUP 5 : - GROUP 5 : - BULLETIN 1 : BLN?***** BULLETIN 2 : BLN? BULLETIN 3 : BLN?	
18	MESSAGE REPLY	受信メッセージの自動 応答設定	REPLY : OFF / ON CALLSIGN : ******** REPLY TEXT : -	
19	MY POSITION SET	自局位置の設定	GPS / MANUAL	
20	MY POSITION	自局位置のマニュアル 設定	LAT:[N *° **.**' ('**")] LON:[E *° **.**' ('**")]	
21	MY SYMBOL	自局シンボルの設定	ICON 1 : [/>] Car ICON2 : [/R] REC.Vehicle ICON3 : [/-] House QTH (VHF) USER : [YY] Yaesu Radios	
22	POSITION COMMENT	ポジションコメントの 設定	Off Duty / En Route / In Service / Returning / Committed / Special / Priority / Custom 0 ~ 6 / Emergency	
23	SmartBeaconing	スマートビーコニング の設定	STATUS : OFF / TYPE1 / TYPE2 / TYPE3 LOW SPEED : 2 ~ 30km/h 5km/h HIGH SPEED : 3 ~ 90km/h 70km/h SLOW RATE : 1 ~ 100min 30min FAST RATE : 10 ~ 180sec 120sec TURN ANGLE : 5 ~ 90° 28° TURN SLOPE : 1 ~ 255 26 TURN SLOPE : 1 ~ 255 26 TURN TIME : 5 ~ 180sec 30sec	

メニュー / 項目		メニュー / 項目	機能説明	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)	
	24	SORT FILTER	ソート機能・フィルター 機能の設定	SORT : TIME / CALLSIGN / DISTANCE FILTER : ALL / MOBILE / FREQUENCY / OBJECT/ITEM / DIGIPEATER / VoIP / WEATHER / YAESU / OTHER PACKET / CALL RINGER / RANG RINGER / 1200 bps / 9600 bps	
	25	VOICE ALERT	ボイスアラート機能の 設定	V ALERT : NORMAL / TONE SQL / DCS / RX-TSQL / RX-DCS TONE SQL : 67.0Hz ~ 254.1Hz 100.0Hz DCS : 023 ~ 754 023	
※機	能の言	詳細は、APRS 編 取扱記	^{説明書をご覧ください}		
113		BACKUD		Minite to SD / Read from SD	
		BACKUP	本機の情報を IIICTOSD カードに読み書きする	Write to SD / Head Ironi SD	
	2	FORMAT	microSD カードの初期 化	_	
12 C	PTI	ON			
	1	Bluetooth	Bluetooth ヘッドセッ トの設定	Audio : Auto / Fix Battery : Normal / Save Ptt Mode : Momentary / Toggle Vox : ON / OFF Gain : High / Low	
	2	VOICE MEMORY	ボイスメモリー機能の 設定	PLAY/REC : FREE 5min / LAST 30sec ANNOUNCE : AUTO / MANUAL LANGUAGE : JAPANESE / ENGLISH VOLUME : HIGH / MID / LOW RX MUTE : ON / OFF	
13 F	IST/	CLONE			
	1	FACTORY RESET	すべての設定を工場出 荷時の値に戻す	_	
	2	PRESET	プリセットの登録	_	
	3	RECALL PRESET	プリセットの呼び出し	-	
	4	MEMORY CH RESET	登録したメモリーチャ ンネルの消去	-	
	5	MEMORY CH SORT	登録したメモリーチャ ンネルを並べ替える	-	
	6	APRS RESET	APRS の設定を工場出 荷時の値に戻す	-	
	7	CLONE	保存されているデータ すべてをコピーする	This radio \rightarrow other / other \rightarrow This radio	
	8	SOFTWARE VERSION	本機のソフトウェアの バージョンを表示	MAIN CPU Ver: *.** / PANEL CPU Ver: *.** / DSP CPU Ver: *.**	

セットアップメニュー一覧

		メニュー / 項目	機能説明	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)	
14 C	14 CALLSIGN				
	1	MY CALLSIGN	自局のコールサインを	*****	
		(DIGITAL)	設定		

セットアップメニュー:1 DISPLAY メニューの操作

表示される画面の種類を設定する(1 SUB DISPLAY SELECT)

サブディスプレイに表示する内容を設定します。

1 (2987)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- 2 DIALをまわして[1 DISPLAY]を選択し、 (編集)を 押す
- DIAL をまわして[1 SUB DISPLAY SELECT]を 選択し、(2018)を押す サブディスプレイの表示設定画面が表示されます。
- 4 DIAL をまわし、サブディスプレイに表示させる項目を選択する

 1 SUB BAND:サブバンドが表示されます。
 2 TIME:時刻が表示されます。
 3 VDD:電圧が表示されます。
 参考工場出荷時:1 SUB BAND
- 5 (
 2017) を1秒以上押す サブディスプレイに表示される内容が設定され、もとの画面に戻ります。

ディスプレイの明るさを設定する(2 LCD BRIGHTNESS)

ディスプレイの明るさを設定できます。 詳細は6ページの「ディスプレイの明るさを調節する」を参照してください。

ディスプレイのコントラストを設定する(3 LCD CONTRAST)

ディスプレイのコントラストを設定できます。 詳細は6ページの「ディスプレイの明るさを調節する」を参照してください。



セットアップメニュー:1 DISPLAY メニューの操作

GPS 情報を切り換える(4 GPS INFORMATION)

GPS INFO 画面に表示する情報を設定します。

- 1 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわして[1 DISPLAY]を選択し、(2007)を 押す
- 3 DIALをまわして[4 GPS INFORMATION]を選択 し、(細胞)を押す
- 4 DIALをまわし、表示する GPS 情報を選択する
 1 LOCATION:自局位置が表示されます。
 2 FREQUENCY:周波数が表示されます。
 参考 工場出荷時:1 LOCATION
- 5 (**2887**)を1秒以上押す 表示内容が設定され、もとの画面に戻ります。

ENTRY (128) 1001924Y 5 SCAN 2 TX-RX 6 GM 3 MEMORY 7 WIRES-X 4 SIGNALING 8 CONFIG
SETUP MENU LDISPLAY J 1 SUB DISPLAY SELECT 2 LCD BRIGHTNESS 3 LCD CONTRAST 4 GPS INFORMATION
GPS INFORMATION 10LOCATION 2 FREQUENCY

セットアップメニュー:2 TX/RX メニューの操作

電波型式を設定する(1 ANALOG MODE SELECT)

アナログモードの電波型式を選べます。 詳細は基本編の「電波型式を切り替える」を参照してください。

マイクロホンの感度を設定する(2 MIC GAIN)

マイクロホンの感度(マイクゲイン)を設定できます。 詳細は4ページの「マイクロホンの感度を調節する」を参照してください。

AMS 機能時の送信モードを設定する(3 AMS TX MODE)

AMS 機能時の送信モードを選べます。

1 (部部)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- DIALをまわして[2 TX/RX]を選択し、(2008)を押す
- DIALをまわして[3 AMS TX MODE]を選択し、
 (2008)を押す
- 4 DIALをまわして送信モードを選択する
 - 1 AUTO :

受信した信号に合わせて、4つの通信モードを自動的に選択します。

2 TX MANUAL: 受信した信号に合わせて、4つの通信モードを自動的に選択します。なお、マイ クロホンの PTT を短く押すと、デジタルモードとアナログモードを交互に切り 替えることができます。

3 TX FM FIXED: 受信した信号に合わせて、4つの通信モードを自動的に選択しますが、送信時は





FMモードになります。

4 TX DN FIXED :

受信した信号に合わせて、4つの通信モードを自動的に選択しますが、送信時は DN モードになります。

5 TX VW FIXED :

受信した信号に合わせて、4つの通信モードを自動的に選択しますが、送信時は VW モードになります。

- 参考 ・工場出荷時:2 TX MANUAL
 - ・"━"が点滅時:2 TX MANUAL
 - ・" 👝 " が点滅時: 3 TX FM FIXED / 4 TX DN FIXED / 5 TX VW FIXED
 - ・" 🔂 " が点灯時:1 AUTO
 - ※○○部は受信した信号により表示が異なります。
- 5 (副部)を1秒以上押す AMS機能動作時の送信モードが設定され、もとの画面に戻ります。

デジタルモードのスケルチタイプを設定する(4 DIGITAL SQL TYPE)

デジタルモードでのスケルチタイプが設定できます。

- 1 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- 2 DIAL をまわして[2 TX/RX]を選択し、 (課題)を押す
- 3 DIALをまわして[4 DIGITAL SQL TYPE]を選択 し、(2018)を押す
- 4 DIAL をまわしてスケルチタイプを選択する

 1 OFF: 当社製無線機のデジタル信号を受信する
 と、常に音声が出力されます。
 - 2 CODE: SQL CODE が一致した受信信号だけ 音声が出力されます。
 - 3 BREAK: SQL CODE の設定に関わらず相手局 が BREAK 設定で送信すると、音声が 出力されます。

参考 工場出荷時:1 OFF

5 (3 (3)を1秒以上押す
スケルチタイプが設定され、もとの画面に戻ります。

SELOF MENU (1/2)	
1 DISPLAY 5 SCAN 20TX/PX 6 GM	
3 MEMORY 7 WIRES-X	
	_
SETUP MENU [TX/RX] S	5
1 ANALOG MODE SELECT	
3 AMS TX MODE	
4 PDIGITAL SUL TYPE	_
DIGITAL SQL TYPE	-
	-
A COVE 3 BREAK	

セットアップメニュー:2 TX/RX メニューの操作

デジタルモードのスケルチコードを設定する(5 DIGITAL SQL CODE)

デジタルモードでのスケルチコードが設定できます。

- 1 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわして[2 TX/RX]を選択し、(2007)を押す
- 3 DIALをまわして[5 DIGITAL SQL CODE]を選択 し、(細胞)を押す
- 4 DIAL をまわしてコードを選ぶ
 参考・コードは 001 ~ 126 から選択できます。
 ・工場出荷時:001
- 5 (
 2017) を1秒以上押す スケルチコードが設定され、もとの画面に戻ります。

相手局情報をポップアップする時間を設定する(6 DIGITAL POPUP TIME)

相手局のコールサインなどの情報をディスプレイに表示させる時間が設定できます。

- 1 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわして[2 TX/RX]を選択し、(温暖)を押す
- DIALをまわして[6 DIGITAL POPUP TIME]を 選択し、(細胞)を押す
- 4 DIAL をまわしてポップアップする時間を選ぶ
 [1 OFF][2 2 sec][3 4 sec][4 6 sec][5 8 sec]
 [6 10 sec][7 20 sec][8 30 sec][9 60 sec][10
 CONTINUE]

 ※著 工場出荷時: 6 10 sec
- 5 (
 2017)を1秒以上押す ポップアップする時間が設定され、もとの画面に戻ります。

自局位置の表示方法を設定する(7 LOCATION SERVICE)

別途用意している GM 編の取扱説明書を参照してください(当社ウェブサイトからダウンロードしてください)。

1 DISPLAY 5 SCAN 20 TX/RX 3 MEMORY 7 WIRES-X 4 SIGNALING 8 CONFIG	
SETUP MENU (TX/RX 1 60DIGITAL POPUP TIME 7 LOCATION SERVICE 8 STANDBY BEEP 9 HALF DEVIATION	<u>9</u>
DIGITAL POPUP TIME 5 8 sec 6▶10 sec 7 20 sec 8 30 sec	



SETUP MENU [TX/RX	19
5⊫DIGITAL SQL CODE	
5 DIGIIAL PUPUP LIME	
A STANDBY BEEP	
DIGITAL SQL CODE	

10011 002

セットアップメニュー:2 TX/RX メニューの操作

相手局の送信終了時にビープ音を鳴らす(8 STANDBY BEEP)

デジタル通信を行う際、相手の送信終了時に「ピッ」とビープ音を鳴らして、送信が終わったことを知らせることができます(スタンバイビープ機能)。

- 1 (2008)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわして[2 TX/RX]を選択し、(温暖)を押す
- DIALをまわして[8 STANDBY BEEP]を選択し、
 (2987)を押す
- 4 DIAL をまわして ON/OFF を選択する
 1 ON:相手の送信終了時にビープ音が鳴ります。
 2 OFF:相手が送信を終了しても、ビープ音は鳴りません。
 - 参考 工場出荷時:1 ON
- 5 (*謳*)を1秒以上押す もとの画面に戻ります。

ハーフデビエーションを設定する(9 HALF DEVIATION)

変調度を通常の半分に設定できます。

- 1 (温暖)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわして[2 TX/RX]を選択し、(2008)を押す
- 3 DIALをまわして[9 HALF DEVIATION]を選択 し、 企歌)を押す
- DIAL をまわして設定を選ぶ
 1 ON:変調度が半分になります。
 2 OFF:通常の変調度になります。
 参考 工場出荷時:2 OFF
- 5 (2007)を1秒以上押す もとの画面に戻ります。

I DISPLAY 1 DISPLAY 2 TX/RX 3 MEMORY 4 SIGNALING	5 SCAN 6 GM 7 WIRES-X 8 CONFIG	
SETUP MENU (1 6 DIGITAL POR 7 LOCATION SE 8▶STANDBY BEE 9 HALF DEVIAT	TX/RX 3 PUP TIME ERVICE P TION	<u> </u>

BEEP	
	BEEP

SETUP MENU (1/2)	
1 DISPLAY 5 SCAN	
2♦TX/RX 6 GM	
3 MEMORY 7 WIRES-X	
4 SIGNALING 8 CONFIG	
·	
<u></u>	
<u> SETUP MENU [TX/RX]</u>	9
6 DIGITAL POPUP TIME	
2 Î OCĂTION SERVICE	
STANDRY BEEP	
HALF DEVIATION	
1 ON	
セットアップメニュー:3 MEMORY メニューの操作

メモリータグの表示方法を設定する(1 ALPHA TAG SIZE)

メモリーにつけた名前と周波数の表示方法を、チャンネルごとに選べます。 詳細は基本編の「メモリータグの表示方法を変える」を参照してください。

メモリースキャン方法を設定する(2 MEMORY SCAN TYPE)

すべてのメモリーをスキャンするか、指定されたメモリーだけをスキャンするか設定できます。

詳細は基本編の「スキャン方法を選ぶ」を参照してください。

セットアップメニュー:4 SIGNALING メニューの操作

トーン周波数を設定する(1 TONE SQL FREQ)

トーン周波数を設定できます。

詳細は21ページの「トーン周波数を設定する」を参照してください。

DCS コードを設定する(2 DCS CODE)

DCS コードを設定できます。 詳細は 24 ページの「DCS コードを設定する」を参照してください。

DTMF コードの送出方法を設定する(3 AUTO DIALER)

登録した DTMF コードの送出方法を設定できます。 詳細は 32 ページの「登録した DTMF コードを送出する」を参照してください。

スケルチタイプを設定する(4 SQL TYPE)

スケルチタイプを設定します。 詳細は 21 ページの「特定の相手局と交信する」を参照してください。

DTMF コードを登録する(5 DTMF MEMORY)

フォーンパッチから公衆回線に接続するときに使う電話番号などを、最大 16 桁の DTMF コードで登録できます。 詳細は 31 ページの「DTMF コードを登録する」を参照してください。

特定の局だけを呼び出す(6 PAGER CODE)

新ページャーコードを使って、特定の局だけを呼び出す機能を設定します。 詳細は 26 ページの「新ページャー機能を使う」を参照してください。

セットアップメニュー:4 SIGNALING メニューの操作

JR 以外の空線スケルチを設定する(7 PRG REV TONE)

300Hz ~ 3000Hz の間の空線スケルチの周波数を 100Hz 単位で設定できます。

1 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- 2 DIALをまわして[4 SIGNALING]を選択し、(器) を押す
- DIALをまわして[7 PRG REV TONE]を選択し、 (金融)を押す
- 4 DIAL をまわして周波数を選ぶ
 参考 工場出荷時:1500Hz
- 5 (2007)を1秒以上押す 周波数が設定され、もとの画面に戻ります。

相手からの呼び出しをベルで知らせる(8 BELL RINGER)

相手局からの呼び出しをベル音で知らせます。 詳細は 29 ページの「相手からの呼び出しをベルで知らせる」を参照してください。



1700Hz

セットアップメニュー:4 SIGNALING メニューの操作

送受信別々のスケルチタイプを設定する(9 SQL EXPANSION)

送信と受信で別々のスケルチタイプを使用することができます。

- 1 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- 2 DIALをまわして[4 SIGNALING]を選択し、(器)を押す
- DIALをまわして[9 SQL EXPANTION]を選択し、(細胞)を押す
- 4 DIALをまわして設定を選ぶ

 1 ON:送受信で別々のスケルチを使用します。詳細は 30 ページの「その他のスケルチ機能」
 を参照してください。
 2 OFF:送受信で同じスケルチを使用します。

参考 工場出荷時:2 OFF

5 (
3 (
3) を1秒以上押す
送受信時のスケルチタイプが設定され、もとの画面に戻ります。

SETUR MERU (1428) 1 DISPLAY 5 SCAN 2 TX∕RX 6 GM 3 MEMORY 7 WIRES-X 4♦SIGNALING 8 CONFIG
SETUP MENU (SIGNALING) 9 6 PAGER CODE 7 PRG REU TONE 8 BELL RINGER 9 SQL EXPANSION
SOL EXPANSION 1 ON 2 POFF

セットアップメニュー:5 SCAN メニューの操作

信号を受信する方法を設定する(1 DUAL WATCH STOP)

ホームチャンネルに信号が入感したときの受信方法が設定できます。 詳細は 16 ページの「デュアルレシーブの再開設定をする」を参照してください。

スキャンする方向を設定する(2 SCAN DIRECTION)

セットアップメニューの[8 CONFIG]→[10 MIC PROGRAM KEY]で、マイクの [P1] ~[P4]のいずれかに[SCAN]を割り当て、[SCAN]を割り当てたキーでスキャ ンを開始したときに、周波数またはメモリーチャンネルの高い方向へスキャンするか、 低い方向へスキャンするか設定できます。

[P1] ~[P4]に機能を割り当てる方法は、79 ページの「マイクロホンのプログラム キーを設定する(10 MIC PROGRAM KEY)」を参照してください。

1 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- 2 DIALをまわして[5 SCAN]を選択し、 (品語)を押す
- 3 DIALをまわして[2 SCAN DIRECTION]を選択し、(部)を押す
- 4 DIAL をまわして設定を選ぶ
 - 1 UP:周波数が高い方向またはメモリーチャンネ ル番号が大きい方向に向かってスキャンしま す。
 - 2 DOWN:周波数が低い方向またはメモリーチャ ンネル番号が小さい方向に向かってス キャンします。
 - 参考 工場出荷時:UP
- 5 (2007)を1秒以上押す スキャンする方向が設定され、もとの画面に戻ります。



セットアップメニュー:5 SCAN メニューの操作

スキャンが停止したときの受信方法を設定する(3 SCAN RESUME)

スキャンが停止したときの受信方法を設定できます。詳細は基本編の「スキャンストップ時の受信方法を設定する」を参照してください。

デュアルレシーブ機能のチャンネル受信時間を設定する(4 DUAL WATCH MODE)

デュアルレシーブ機能実行中の HOME チャンネルを確認する時間を設定します。詳細は、16 ページの[デュアルレシーブ機能のチャンネル受信時間を設定する]を参照してください。

セットアップメニュー:6 GM メニューの操作

GM(グループモニター)機能は、同一周波数内にいるメンバーが通信範囲内にいるかどうかを自動的に確認するシステムです。

詳細は、別途用意している GM 編の取扱説明書を参照してください(当社ウェブサイト からダウンロードしてください)。

セットアップメニュー:7 WIRES-X メニューの操作

WIRES-X 機能は、アマチュア無線の通信エリアを拡げるための、インターネットを利用した通信システムです。

詳細は、別途用意している WIRES-X 編の取扱説明書を参照してください(当社ウェブ サイトからダウンロードしてください)。

76

セットアップメニュー:8 CONFIG メニューの操作

日付と時刻を設定する(1 DATE & TIME ADJUST)

本機に内蔵されている時計の日付と時刻を設定します。 詳細は基本編の「日付と時刻をあわせる」を参照してください。

時計の表示形式を設定する(2 TIME FORMAT)

本機に内蔵されている時計の表示形式として、24 時間表示または 12 時間表示を選択 します。

1 (20187)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- DIALをまわして**[8 CONFIG]**を選択し、(ARR)を 2 押す
- 3 DIALをまわして[2 TIME FORMAT]を選択し、 (副SP)を押す 時刻の表示設定画面が表示されます。
- 4 DIALをまわして「24 hour」または「12 hour」を選 択する 参考 工場出荷時:24 hour
- 5 (鼎歌)を1秒以上押す 時刻の表示形式が設定され、もとの画面に戻ります。



SETUP MENU I CONFIG	117
1 DATE & TIME ADJUST 2▶TIME FORMAT	
3 TIME ZONE 4 AUTO REPEATER SHIFT	
TIME FORMAT	
[24 hour]	



タイムゾーンを設定する(3 TIME ZONE)

本機に内蔵された時計を、GPS からの時刻データ(協定世界時)の時刻にあわせられま す。工場出荷時は日本時間(UTC+9:00)にあわせてあるため、再設定の必要はありま せん。

タイムゾーンは、0.5時間単位で±14時間まで設定できます。

- 1 (2008)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわして[8 CONFIG]を選択し、(2008)を 押す
- DIALをまわして[3 TIME ZONE]を選択し、(温証) を押す
- 4 DIAL をまわしてタイムゾーンを選ぶ
 0.5 時間刻みで±14 時間まで設定できます。
 参考 工場出荷時: UTC+9:00
- 5 (2007)を1秒以上押す タイムゾーンが設定され、もとの画面に戻ります。

オートレピータシフトを設定する(4 AUTO REPEATER SHIFT)

レピータで交信するときに、レピータの周波数にあわせるだけで自動的にレピータを使える状態になるオートレピータシフト機能の ON/OFF が設定できます。

- 1 (温暖)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわして[8 CONFIG]を選択し、(器器)を 押す
- DIALをまわして[4 AUTO REPEATER SHIFT]
 を選択し、(細胞)を押す
- 4 DIAL をまわして設定を選択する

 1 ON:オートレピータシフト機能が動作します。
 2 OFF:オートレピータシフト機能は動作しません。

 参考工場出荷時:1 ON
- 5 (2007)を1秒以上押す オートレピータシフトが設定され、もとの画面に戻ります。



SETUP MEN	U (1/2)
1 DISPLAY	5 SCAN
2 TX/RX	6 GM
3 MEMORY	7.WIRES-X
4 SIGNALING	S⊫CONFIG

SETUP MENU [CONFIG	117
1 DATE & TIME ADJUST	
2 TIME FORMAT	
3♦TIME ZONE	
4 AUIU REPEATER SHIFT	

TIME ZONE

レピータシフトの方向を設定する(5 REPEATER SHIFT)

レピータ機能のシフト方向が設定できます。

- (LARF)を1秒以上押す 1 セットアップメニューが表示されます。
- 2 DIALをまわして[8 CONFIG]を選択し、(PBF)を 押す
- 3 DIALをまわして[5 REPEATER SHIFT]を選択 し、(副論)を押す
- 4 DIALをまわしてシフト方向を選択する 1 SIMPREX:シフトしません。 2 - REPEATER: 周波数の低い方向ヘシフトしま す。 3 + REPEATER: 周波数の高い方向へシフトしま す。

参考 工場出荷時:1 SIMPLEX

5 (闘闘)を1秒以上押す レピータシフトの方向が設定され、もとの画面に戻ります。

レピータのシフト幅を設定する(6 REPEATER SHIFT FREQ)

レピータ機能のシフト幅が設定できます。

- **1** (鼎駅)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわして**[8 CONFIG]**を選択し、(**課**)を 2 押す
- 3 DIAL をまわして「6 REPEATER SHIFT FREQ] を選択し、(20187)を押す
- 4 DIALをまわしてシフト幅を設定する 0.000MHz~99.950MHzの間で、0.05MHz間隔 で設定できます。 参考 工場出荷時:0.00MHz
- 5 (**黒**駅)を1秒以上押す レピータのシフト幅が設定され、もとの画面に戻ります。

SEIVE MENU (172)
1 DISPLAY 5 SCAN 2 TX/RX 6 GM
3 MÉMORY 7 WÎRES-X 4 SIGNALING 8⊫CONFIG
SETUP MENU [CONFIG 117
5+REPEATER SHIFT 6 REPEATER SHIFT FREQ 7 FM AM STEP 8 BEEP
REPEATER SHIFT
1∳SIMPLEX 2 - REPEATER 3 + REPEATER

I DISPLAY 5 SCAN 2 TX∕RX 6 GM 3 MEMORY 7 WIRES-X 4 SIGNALING 8⊫CONFIG <u>__,or MENU I CONFI</u> 6₱REPEATER SHIFT 7 FM AM STEP 8 BFF^D <u>CONFIG</u> HIFT FRFR 8 BEEP 9 CLOCK TYPE

MI-SHI

<u> PISPL</u>AV



周波数ステップを設定する(7 FM AM STEP)

ツマミやキーの操作で1回に変わる周波数値を変えることができます。 詳細は基本編の「周波数ステップを変える」を参照してください。

ビープ音の音量を設定する(8 BEEP)

キー操作するときに鳴る操作確認音(ビープ音)を変更できます。 詳細は5ページの「ビープ音の音量を変更する」を参照してください。

マイコンのクロックシフトを設定する(9 CLOCK TYPE)

マイコンのクロック信号を高周波による内部スプリアスとして受信しないように設定できます。通常使用時は[1 A]を選択してください。

- 1 (品語)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわして[8 CONFIG]を選択し、(温証)を押す
- DIALをまわして[9 CLOCK TYPE]を選択し、
 (副部)を押す
- 4 DIAL をまわして[1 A] または[2 B] 選択する
 1 A: クロックシフト動作が自動的に ON/OFF します。
 2 B: 常にクロックシフト動作を動作させます。

参考 工場出荷時:1A

5 (2007)を1秒以上押す クロックシフトタイプが設定され、もとの画面に戻ります。

マイクロホンのプログラムキーを設定する(10 MIC PROGRAM KEY)

付属品のマイクロホン(MH-48)のプログラムキー(P1~P4)に機能を割り当てます。

- 1 (
 副語)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわして[8 CONFIG]を選択し、(温暖)を 押す
- DIAL をまわして[10 MIC PROGRAM KEY]を選 択し、(銀歌)を押す

マイクプログラムキーの設定画面が表示されます。

SETUE MENU (1/2) 1 DISPLAY 5 SCAN 2 TX-RX 6 GM 3 MEMORY 7 WIRES-X 4 SIGNALING 3 CONFIG	
SETUP MENU I CONFIG 10+MIC PROGRAM KEV 11 RX COVERAGE 12 UNIT 13 APO	<u>117</u>



 4 DIALをまわして機能を割り当てるプログラムキー (P1~P4)を選択し、(ABB)を押す

MIC PRO	GRAM KEY	
●P1KEY I	SQL OFF]
P2KEY I	HOME	1
PSKEY I	D_X	1
P4KEY I	TX POWER	1

- 5 DIAL をまわして割り当てたい機能を選択し、(ABBP) を押す
- 6 他のプログラムキーを設定する

手順4~5を繰り返して、他のプログラムキーに割り当てる機能を設定します。 設定できる機能は、以下のとおりです。

機能	説明
OFF	プログラムキーの動作をオフにする
SQL TYPE	スケルチタイプの変更
SCAN	スキャン開始/停止(PMS 時に有効)
HOME	ホームチャンネルの呼び出し
DCS CODE	DCS コード選択
TONE FREQ	トーン周波数選択
RPT SHIFT	レピーターシフト選択
REVERSE	リバース機能
TX POWER	送信出力設定
SQL OFF	スケルチオフ
T-CALL	T-CALL 機能
VOICE	現在の周波数を音声で読み上げ(オプションの FVS-2 装着時に有効)
D_X	フロントパネルの
PR FREQ	空線スケルチの周波数設定
S-LIST	ステーションリスト呼出
MSG	メッセージリスト呼出
REPLY	APRS 返信メッセージの書き込みモード呼出
M-EDIT	APRS メッセージの書き込みモード呼出

7 (副部)を1秒以上押す

プログラムキーに機能が割り当てられ、もとの画面に戻ります。

参考 工場出荷時: P1: SQL OFF P2: HOME P3: D_X P4: TX POWER

受信範囲を拡張する(11 RX COVERAGE)

航空無線帯(108~137MHz)や、情報無線帯(174~400MHz、480~999.99MHz)の周波数も受信できるようにできます。

- 1 (2008)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわして[8 CONFIG]を選択し、(2018)を 押す
- DIALをまわして[11 RX COVERAGE]を選択し、
 (2007)を押す
- 4 DIAL をまわして受信範囲を選択する

 NORMAL: 144MHz 帯と 430MHz 帯のみ受信します。
 2 WIDE: 航空無線帯と情報無線帯も受信します。

 33 工場出荷時: 1 NORMAL
- 5 (**温**部)を1秒以上押す 受信範囲が設定され、もとの画面に戻ります。

表示する単位を設定する(12 UNIT)

高度や距離、速度を表示するときの単位が設定できます。

- 1 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわして[8 CONFIG]を選択し、(2007)を 押す
- 3 DIALをまわして[12 UNIT]を選択し、(2007)を押す
- DIAL をまわして単位の表示方法を選択する

 METRIC:単位をメートル法で表示させます。
 INCH:単位をインチ法で表示させます。

 び考工場出荷時:1 METRIC
- 5 (温齢)を1秒以上押す 表示する単位が設定され、もとの画面に戻ります。

	SETUP MENU (1/2)	
1	DISPLAY 5 SCAN	
1 5	MEMODU 7 NIDER	v
4	SIGNALING 8⊫CONFIG	n
\square		
51	ETUP MENU [CONFIG	117
110	▶RX_ <u>C</u> OVERAGE	
14		
i4	Tot	

RX COVERAGE	
1 NORMAL	
2 WIDE	

-			_
SETUR	MENU	(1/2)	
1 DISPLA	IY 5	SCAN	
2 TX/RX	. 6	GM	
I 3 MEMURY	' <u>-</u>	WIRES-X	
4 SIGNHL	.ING 8	PLUNFIG	
SETUP ME	<u>NU [CO</u>	NFIG	117
120UNIT			
13 0 80			
	-+1- 50	TOTHO	
	ULTI TH	TETNO	
UNIT			
1⊧METRIC			
1 2 INCH			

自動的に電源を切る(13 APO)

ー定の時間何も操作しないと、自動的に本機の電源が切れるように設定できます。 詳細は 34 ページの「APO 機能を使う」を参照してください。

連続送信時間を制限する(14 TOT)

送信状態が続いたときに、あらかじめ指定した時間がたつと自動的に受信状態に戻るように設定できます。 詳細は 35 ページの「TOT 機能を使う」を参照してください。

Bluetooth ヘッドセットの PIN コードを設定する(15 Bluetooth PAIRING)

本機に装着した Bluetooth ユニットに、使用するヘッドセットを識別させます。 詳細は 96 ページの「Bluetooth ヘッドセットを認識させる」を参照してください。

GPS 機能の測地系を設定する(16 GPS DATUM)

GPS 機能の測位の基準である測地系が設定できます。

- 1 (温暖)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわして[8 CONFIG]を選択し、(温暖)を 押す
- DIALをまわして[16 GPS DATUM]を選択し、 (2007)を押す

SETUP MENU (1/2)	
1 DISPLAY 5 SCAN 2 TX/RX 6 GM 3 MEMORY 7 WIRES-	x
4 SIGNALING 8⊮CONFIG	
SETUP MENU (CONFIG	117
14 TOT 15 Bluetooth PAIRING 16⊭GPS DATUM 17 GPS LOG	
1€WGS-84 2 TOKYO MEAN	

- 4 DIAL をまわして測地系を選択する
 - 1 WGS-84:世界測地系を使って測位します。全世界で標準的に使われています。

2 TOKYO MEAN:日本測地系を使って測位します。日本(東京)で測位するとき に、誤差が小さくできます。

参考 工場出荷時:1 WGS-84

(2007)を1秒以上押す
 GPS 機能の測地系が設定され、もとの画面に戻ります。



GPSの位置情報を記録する間隔を設定する(17 GPS LOG)

自局の位置情報を microSD カードに記録する間隔の時間を設定します。 詳細は 19 ページの「位置情報を記録する(GPS ログ機能)」を参照してください。

COM ポートを設定する(1 COM PORT SETTING)

本体後面の[DATA] ジャックを COM ポートとして使うときの通信速度や機能などを 設定します。

1 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- 2 DIALをまわして[9 DATA]を選択し、 (跳)を押す
- DIALをまわして[1 COM PORT SETTING]を選択し、(2007)を押す
 詳細な設定のための画面が表示されます。
- 4 DIALをまわして[COM SPEED]を選択し、(##) を押す
- DIALをまわして[COM OUTPUT]を選択し、
 (2007)を押す

 7 DIAL をまわして出力する情報を選択する 次のように切り替わります。
 [OFF]→[GPS OUT]→[PACKET]→[WAYPOINT]
 OFF: COM ポートの出力機能は使いません(動作無効)。
 GPS OUT:本機が取り込んだ GPS データを出力します。
 PACKET:内蔵のモデム機能で受信した AX.25 のパケット通信データを出力します。
 WAYPOINT:受信した APRS パケットから得られる他局ビーコンの位置情報を WAYPOINT データとして出力します。

参考 工場出荷時:OFF

COM PORT SETTING	
.COM SPEED I 9600bes	ī
INCOM COTPUTIOFF NE FORMATINMEA 9	
WP FILTER I ALL	i







WP FORMAT INMEA 9

<u>____186</u> [9600bps] 0FF

8 BACK を押す



COM SPEED I 9600bes

WP FORMAT INMEA 9 WP FILTER IALL

- 9 DIALをまわして[WP FORMAT]を選択し、(器)を押す
- **10** DIAL をまわして、各データに付加される APRS ビーコン局のコールサイン情報の 桁数を選択する

手順9で「WAYPOINT」を選択した場合に設定します。データはNMEA-0183の \$GPWPL フォーマットにて出力されます。

次のように切り替わります。

- $[NMEA 9] \rightarrow [NMEA 8] \rightarrow [NMEA 7] \rightarrow [NMEA 6]$
- NMEA 9: コールサインは右9桁に制限されます(例:JQ1YBG-14ならコールサ イン情報は"JQ1YBG-14"となる)。
- NMEA 8: コールサインは右8桁に制限されます(例: JQ1YBG-14ならコールサ イン情報は"Q1YBG-14"となる)。
- NMEA 7: コールサインは右7桁に制限されます(例: JQ1YBG-14ならコールサ イン情報は"1YBG-14"となる)。
- NMEA 6: コールサインは右6桁に制限されます(例: JQ1YBG-14ならコールサ イン情報は "YBG-14"となる)。

参考 工場出荷時:NMEA 9

- **11** BACK を押す
- **12** DIALをまわして[WP FILTER]を選択し、(温歌)を 押す



13 DIAL をまわして、出力したいビーコンの種類を選択する
 手順 7 で「WAYPOINT」を選択した場合に設定します。
 次のように切り替わります。
 「ALL」→「MOBILE」→「FREQUENCY」→「OBJECT/ITEM」→「DIGIPEATER」→
 「VoIP」→「WEATHER」→「YAESU」→「CALL RINGER」→「RNG RINGER」
 ALL:受信したすべてのビーコンを出力します。
 MOBILE:移動局だけを出力します。
 FREQUENCY:周波数情報を持つ局だけを出力します。
 OBJECT/ITEM:オブジェクト局またはアイテム局だけを出力します。
 DIGIPEATER:デジピーター局だけを出力します。



VoIP: WIRES などの VoIP 局だけを出力します。 WEATHER: 気象局だけを出力します。 YAESU: 八重洲無線のトランシーバーを使用している局だけを出力します。 CALL RINGER: APRS セットアップメニューの**[9 APRS RINGER(CALL)]**で 設定したコールサインリンガー局の情報だけを出力します。 RNG RINGER: APRS セットアップメニューの**[8 APRS RINGER]**のレンジリ ンガー機能により、接近局として判定される局の情報だけを出力 します。

参考 工場出荷時:ALL

14 (副部)を1秒以上押す COM ポートが設定され、もとの画面に戻ります。

APRS とデータ通信の通信速度を設定する(2 DATA SPEED)

APRS(内蔵モデム)とデータ通信(本体背面の[DATA]ジャック使用時)の通信速度を設定します。

- 1 (温齢)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- 2 DIALをまわして[9 DATA]を選択し、 (跳)を押す
- DIALをまわして[2 DATA SPEED]を選択し、
 (2)部)を押す
 詳細な設定のための画面が表示されます。
- 4 DIALをまわして[APRS]を選択し、(ARR)を押す



SETUP MENU [DATA	
1 COM PORT SETTING	
2▶DATA SPEED	
3 DATA SQUELCH	

;] ;]

- 5 DIAL をまわしてパケット通信の速度を選択する DIAL をまわすと「1200 bps」と「9600 bps」が切り替わります。
 1200 bps: AFSK1200bpsパケットに設定します。
 9600 bps: GMSK9600bpsパケットに設定します。
 家著 工場出荷時: 1200 bps
- 6 BACK を押す
- 7 DIALをまわして[DATA]を選択し、(2007)を押す
 手順5を繰り返し、データ通信の速度を設定します
 参考 工場出荷時:1200 bps
- 8 (2007)を1秒以上押す APRS とデータ通信の通信速度が設定され、もとの画面に戻ります。

スケルチ検出やスケルチ端子の出力条件を設定する(3 DATA SQUELCH)

APRS(内蔵モデム)運用時のスケルチ検出の条件や、データ通信(本体背面の[DATA] ジャック使用時)のスケルチ端子に関する出力条件を設定します。52 ページの[パ ケット通信の動作を設定する]を参照してください。

セットアップメニュー: 10 APRS メニューの操作

本機の APRS 機能は、APRS のフォーマットを使用して自局位置やメッセージ等のデー タ通信を行うシステムです。

詳細は、別途用意している APRS 編の取扱説明書を参照してください(当社ウェブサイトからダウンロードしてください)。

セットアップメニュー:11 SD メニューの操作

設定内容を microSD カードに書き込む(1 BACKUP)

microSD カードを使用して、本機に登録したメモリーチャンネルやセットアップメニューでの設定内容などを、別の FTM-100D または FTM-100DH にコピーできます。 また、microSD カードに記憶させた設定内容を、本機に取り込むこともできます。 詳細は 44 ページの「本機のデータをほかの無線機にコピーする」を参照してください。

microSD カードを初期化する(2 FORMAT)

新しい microSD カードを使用するときは、メモリカードを初期化してください。 詳細は 3 ページの「microSD カードを初期化する」を参照してください。

セットアップメニュー:12 OPTION メニューの操作

Bluetooth ヘッドセットの動作を設定する(1 Bluetooth)

本機に Bluetooth ユニットを装着して Bluetooth ヘッドセットを使うと、ワイヤレス で受信音を聞いたり音声を送信したりできます。 詳細は 94 ページの[Bluetooth ヘッドセットの動作を設定する]参照してください。

ボイスメモリーの動作を設定する(2 VOICE MEMORY)

本機にボイスガイドユニットを装着すると、受信した音声やマイクで拾った音声を録音し、あとから本機で再生して聴いたり、消去したりできます。 詳細は 101 ページの「ボイスメモリーを使う」を参照してください。

セットアップメニュー:13 RST / CLONE メニューの操作

設定した内容をリセットする(1 FACTORY RESET)

本機の設定やメモリー内容を、工場出荷時の値に戻すことができます。 詳細は基本編の「設定を初期値に戻す(オールリセット)」を参照してください。

プリセットを登録する(2 PRESET)

周波数やメモリーチャンネルなど、現在の設定内容を、1件だけプリセットに登録できます。

1 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- DIALをまわして[13 RST/CLONE]を選択し、
 (2007)を押す
- DIAL をまわして[2 PRESET]を選択し、(2007)を押 す
 プリセットの登録を確認する画面が表示されます。

DIALをまわして[OK?]を選択し、(研究)を押す

 4 DIALをまわして[OK?]を選択し、(温略)を押す プリセットが登録されます。
 登録を中止する場合は[Cancel]を選択し、(温暖)を 押します。

5 (2008)を1秒以上押す もとの画面に戻ります。



登録したプリセットを呼び出す(3 RECALL PRESET)

登録したプリセットを、セットアップメニューから呼び出せます。

- 1 (闘闘)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- 2 DIALをまわして[13 RST/CLONE]を選択し、 (副部)を押す
- DIALをまわして[3 RECALL PRESET]を選択 3 し、(**鼎**)を押す 登録したプリセットを呼び出す確認の画面が表示さ れます。
- 4 DIALをまわして[OK?]を選択し、(PRP)を押す 登録したプリセットが呼び出され、もとの画面に戻 ります。 呼び出しを中止する場合は[Cancel]を選択し、 (副部)を押します。
- 5 (副部)を1秒以上押す もとの画面に戻ります。

メモリーチャンネルを消去する(4 MEMORY CH RESET)

登録したメモリーチャンネルを消去します。

- (2000)を1秒以上押す 1 セットアップメニューが表示されます。
- 2 DIALをまわして[13 RST/CLONE]を選択し、 (計算)を押す メニューリストが表示されます。
- DIAL をまわして[4 MEMORY CH RESET]を選 3 択し、(副部)を押す
- DIALをまわして[OK?]を選択し、(PBP)を押す 4 備考 リセットを中止するときは、[Cancel]を選択します。

9 DATA 10 APRS 11 SD 12 OPTION <u>SETUP MENU (RST/CLONE]8</u> 1 FACTORY RESET 2 PRESET 3 RECALL PRESET 4∳MEMORY CH RESET 1 Fr/MEMORY CH RESET Ś REL – Čancel 4⊮MEMURY CH RESET

(2/2)

13 RST/CLONE 14 CALLSIGN

SETUP MENU

登録したメモリーチャンネルが消去され、もとの画面に戻ります。

9 DATA	13▶RST/CLONE
10 APRS 11 SD 12 OPTION	14 CALLSIGN



SETUP, WEAN A REAL ONE	1	8
1 FACRECALL_PRESET		
2 PRE ▶UK? .		
3⊧RE(Uancel		
4 MEMURY CH RESET		

セットアップメニュー: 13 RST / CLONE メニューの操作

メモリーチャンネルをソートする(5 MEMORY CH SORT)

登録したメモリーチャンネルの順番をソートします。

- (2018)を1秒以上押す 1 セットアップメニューが表示されます。 2
- DIALをまわして[13 RST/CLONE]を選択し、 (副部)を押す メニューリストが表示されます。
- DIAL をまわして[5 MEMORY CH SORT]を選択 3 し、(**LARP**)を押す
- 4 DIAL をまわして[OK?]を選択し、(**PMP**)を押す 備老 ソートを中止するときは、「Cancellを選択します。

13⊫RST/CLONE 14 CALLSTGN 9 DATA 10 APRS 11 SD 12 OPTION SETUP MENU (RST/CLONE] 8 3 RECALL PRESET 4 MEMORY CH RESET 5 MEMORY CH SORT 6 APRS RESET SETUC MENT OF SORT NE 18 3 RE MEMORY CH SORT 4 ME POK? 5 MR Cancel 6 APRS RESEL

SETHE MENH

周波数の低い方からメモリーチャンネルがソートされます。 また、本機が再起動します。

APRS の設定をリセットする(6 APRS RESET)

APRS の設定をリセットします。

- 1 (2000)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- 2 DIALをまわして[13 RST/CLONE]を選択し、 (**LAR**)を押す メニューリストが表示されます。
- 3 DIALをまわして[6 APRS RESET]を選択し、 (副部)を押す
- DIALをまわして[OK?]を選択し、(PBF)を押す 4 備考 リセットを中止するときは、[Cancel]を選択します。



RESEL

APRS の設定がリセットされ、もとの画面に戻ります。

保存されているデータをコピーする(7 CLONE)

本機に保存されているデータすべてを別の FTM-100D または FTM-100DH に直接コ ピーできます。

詳細は 46 ページの [クローン機能を使う]を参照してください。

セットアップメニュー:14 CALLSIGN メニューの操作

コールサインを変更する(1 MY CALL SIGN(DIGITAL))

本機に設定した自局のコールサインを変更することができます。

1 (温歌)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- 2 DIALをまわして[14 CALLSIGN]を選択し、 (編編) を押す
- 3 (跳び)を押す 現在のコールサインが表示されます。
- (2007)を押す
 左端の文字が点滅します。
- 5 DIAL をまわして文字を選択し、 ^GM を押す(上に ⁻⁻⁻⁻⁻ が表示されています) カーソルが右に移動します。
 - 参考 ・英数字、ハイフン、/ で 10 文字まで入力できます。
 - - ・入力した文字を消去する場合、 🗰 を押します(上に 💶 🖬 が表示されています)。
 - ・カーソルを左に移動する場合、
 - ・入力した文字を削除してカーソルを左に移動する場合、(級)を押します(上に)のようが 表示されています)。
- 6 手順5を繰り返してコールサインを変更する
- 7 (2889)を押す 新しいコールサインが表示されます。
- 8 (2007)を1秒以上押す コールサインが設定され、もとの画面に戻ります。





MY	CALLSIGN	(DIGITAL)
	314	_
	I JH1YPC]
er ei		3 6 2
<u>A/3</u>]

オプションの Bluetooth ユニット[BU-2]とオプションの Bluetooth ヘッドセット [BH-2A]を使うと、ワイヤレスで受信音を聞いたり音声を送信したりできます。 また、VOX(Voice Operated Xmit)機能を ON にすると、ハンズフリーで交信できま す。



当社オプション以外の Bluetooth ヘッドセットも使用できますが、すべての機能が正常に動作する保証はできません。

Bluetooth ユニット[BU-2]を装着する

●準備するもの

- Bluetooth ユニット[BU-2](オプション)
- プラスドライバー



●装着の手順

注意

静電気などにより半導体が破損する恐れがありますので、必要箇所以外の場所には不用意に 手を触れないでください。

- 1 本機の電源を切る
- 2 外部装置の電源を切る
- 3 本体からコントロールケーブル、マイクロホン、DC 電源ケーブルを抜く
- 4 本体の上面の4ヶ所と、側面それぞれ2ヶ所の、あわせて8ヶ所のビスを外す



- 5 本体の上面カバーの背面側をゆっくりと持ち上 げる
 - 注意 上面カバーを勢いよく持ち上げないでください。 カバー内側のスピーカーと本体内部の基板がコー ドでつながっているため、断線する場合がありま す。
- 6 上面カバーから伸びているスピーカーのコード を本体内部の基板のソケットから抜いて、カ バーを外す

注意 コードを抜く際は、コードを持たずにコネクタ部 分を持って抜いてください。

- 7 本体前面の2ヶ所のビスを外す
- 8 前面上部中央のつめを引き上げてから、前面カ バーを取り外す

9 右図を参考に、コネクタに BU-2 を差し込む
 注意 コネクタの向きを確認して、奥まで差し込んでください。





10 本体前面のカバーを取り付けて、2ヶ所のビスでとめる

- 11 本体上面のカバーから伸びるスピーカーのコードを基板のソケットに元通り差し込む
- 12 本体上面のカバーを取り付けて、8ヶ所のビスでとめる

Bluetooth ヘッドセットの動作を設定する

ワイヤレス交信の仕方に応じて、次のような内容を設定します。

- ヘッドセットだけで音声を聞く、または本機のスピーカーからも音声が聞けるように する
- ヘッドセットのバッテリーを節約する
- [PTT] で送受信を切り替える、または音声で自動的に送受信を切り替える
- •小さめの音声でも自動的に送受信を切り替える
- 1 本機の電源を入れる
- 2 (副部)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- DIALをまわして[12 OPTION]を選択し、 (細胞)を 押す
- 4 DIALをまわして[1 Bluetooth]を選択し、(2008)を 押す

参考本機にBU-2を装着していないときは選択できません。 設定のための画面が表示されます。

- 5 DIALをまわして[1 AUDIO]を選択し、(2008)を押 す
- 6 DIALをまわして「AUTO」または「FIX」を選択する 「AUTO」: Bluetooth ヘッドセットが接続されると、本機のスピーカーから音が 出なくなり、ヘッドセットからだけ音が出ます。

Bluetoothへッドセットと本機のスピーカーの両方から音が出ます。 [FIX]: 参考 工場出荷時:AUTO



BluetootH	7
1∳AUDIO	:[AUTO]]
2 BATTERY	:[NORMAL]]
3 PTT MODE	:[MOMENTARY]
4 VOX	:[OFF]]

7 BACK を押す



- 8 DIALをまわして[2 BATTERY]を選択し、(2018)を 押す
- 9 DIAL をまわして「NORMAL」または「SAVE」を選択する 「NORMAL」: Bluetooth ヘッドセットのバッテリーセーブ機能が OFF になり ます。

「SAVEJ: Bluetooth ヘッドセットのバッテリーセーブ機能が ON になります。 参考 工場出荷時: NORMAL

- **10** BACK を押す
- 11 DIAL をまわして[3 PTT MODE]を選択し、 (2018) を押す

Bluetoo	th
1 AUDIO	*[AUTO]
	EIL NUMENIARY I

12 DIAL をまわして「MOMENTARY」または「TOGGLE」を選択する

「MOMENTARY」: ヘッドセットの[PTT]を押している間は、送信状態になります。

[TOGGLE]: ヘッドセットの[PTT]を押すたびに、送信と受信を切り替えます。 参考 工場出荷時: MOMENTARY

- **13** BACK を押す
- 14 DIAL をまわして[4 VOX]を選択し、 (器)を押す



- DIAL をまわして[OFF]または[ON]を選択する [OFF]: [PTT]で送受信を切り替えます。
 [ON]: 音声による送受信の切り替えができます。
 [ジジ] 工場出荷時: OFF
- **16 (NOX)**を押す **(VOX)**を[ON]にした場合、**(5 GAIN)**が表示されます。
- **17** DIAL をまわして**[5 GAIN]**を選択し、(**温**部)を押す 設定項目が表示されます。

Bluetoo	oth	
2 BATTERY 3 PTT MODI 4 UOX 5⊫GAIN	' :[NORMAL] E:[MOMENTARY] :[ON] :[HIGH]	

18 DIAL をまわして[HIGH]または[LOW]を選択する

- [HIGH]: Bluetooth ヘッドセットの VOX 感度が高くなり、小さめの音声に反応 できます。
- [LOW]: Bluetooth ヘッドセットの VOX 感度が低くなり、小さめの音声に反応 しにくくなります。
- **19** BACK を押す
- **20** (
 避)を1秒以上押す Bluetooth ヘッドセットの動作が設定され、もとの画面に戻ります。

Bluetooth ヘッドセットを認識させる

ヘッドセットなどの Bluetooth 端末機器には、「PIN コード」と呼ばれる個別の識別コードが割り当てられています。Bluetooth 端末機器を使うときは、はじめに相手の機器とお互いを認識させ、記録しておきます。これを「ペアリング」といい、このとき PIN コードが使われます。ペアリングしておくことで、混信や不正な傍受を防ぐことができます。

本機と Bluetooth ヘッドセットでワイヤレス交信する場合も、初めて使うときにペア リングします。



当 社 製 Bluetooth ヘッド セット[BH-2A] の PIN コードは 6111 です。当社以外の Bluetooth ヘッドセットを使用する場合は、その製品の取扱説明書などで PIN コードを確認 してください。

例:オプションの Bluetooth ヘッドセット「BH-2A」をペアリングする場合



BH-2A 以外のヘッドセットを使う場合、ペアリングの方法は使用する製品の取扱説明書を 参照してください。

- **1** BH-2A の電源を切る
- 2 本機の(副部)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわして[8 CONFIG]を選択し、(2007)を 押す
 メニューリストの画面が表示されます。

SETUP MEN	40 (1/2)
1 DISPLAY	5 SCAN
<u>2 TX/RX</u>	<u>6 GM</u>
3 MEMORY	7 WIRES-X
4 SIGNALING	SPCONFIG

4 DIALをまわして[15 Bluetooth PAIRING]を選択し、(認識)を押す

117

PIN コードの入力画面が表示されます。

- 参考 ・工場出荷時、PIN コードの欄には[6111]が表示されます。
 - ・BH-2A 以外のヘッドセットを使う場合は、ここで ヘッドセットの PIN コードを4桁で入力します。 DIAL をまわすと、カーソル位置の文字が上書きされ ます。
 - ・・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・
 ・・
 ・・
 ・・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 <
 - ・ Gw キーを押すと、カーソルが右に移動します(上に
 が表示されています)。
- 5 BH-2Aの電源スイッチを5秒間押す BH-2AのLEDインジケーターが赤色と青色で交互に点滅します。
- Galaxies
 Galaxies
 Galaxies
 Calaxies
 Calaxie

[Pairing...]が表示されます。

ペアリングが成功すると「Completed」と表示され、メニューリストの画面に戻ります。

また、BH-2AのLEDインジケーターが青色に点滅します。

注意「ERROR」と表示された場合は、はじめからやり直してください。

7 (新聞)を1秒以上押す

もとの画面に戻ります。

ディスプレイ右上に*アイコンが表示されます。



- BU-2には、ペアリング情報を8つまで保存できます。予備や個人用などヘッドセットを2つ以上使う場合は、それぞれのPINコードを設定してペアリングしておきます。
 ただし、同時に2つ以上のヘッドセットを使うことはできません。
- 8つまでペアリングしたあとさらにペアリングすると、もっとも古いペアリング情報が上 書きされます。

Bluetooth PAIRING

PINCODE [6111]

Bluetooth ヘッドセットを使う

ー度ペアリングしたあとは、ヘッドセットの電源を ON するだけで使えるようになり ます。



・本機とヘッドセットとで交信が可能な距離は約10m以内です。
 ・ヘッドセットと本機との距離が離れすぎて通信圏外になると北アイコンは表示されません。

(1) VOX 機能を OFF にしているとき

- ヘッドセットの電源を入れる ヘッドセットのスピーカーで受信音が聞こえるようになります。
- ヘッドセットの[PTT]を押す 本機が送信状態になります。
- ヘッドセットの[PTT]を放す
 本機が受信状態になります。

(2) VOX 機能を ON にしているとき

- ヘッドセットの電源を入れる ヘッドセットのスピーカーで受信音が聞こえるようになります。
- ヘッドセットのマイクに向かって話す
 本機が送信状態になります。
 参考話すのをやめると、自動的に受信状態に戻ります。

オプションのボイスガイドユニット[FVS-2]を使うと、受信した音声を録音し、あとから再生して聞くことができます。

また、アナウンス機能を ON にすると、操作バンドの周波数を読み上げる音声を聞く ことができます。

ボイスガイドユニット[FVS-2]を装着する

●準備するもの

- •ボイスガイドユニット[FVS-2](オプション)
- プラスドライバー



●装着の手順



静電気などにより半導体が破損する恐れがありますので、必要箇所以外の場所には不用意に 手を触れないでください。

- 1 本機の電源を切る
- 2 外部装置の電源を切る
- 3 本体からコントロールケーブル、マイクロホン、DC 電源ケーブルを抜く
- 4 本体の上面の4ヶ所と、側面それぞれ2ヶ所の、あ わせて8ヶ所のビスを外す



5 本体の上面カバーの前面側をゆっくりと持ち上げる 注意 上面カバーを勢いよく持ち上げないでください。カ バー内側のスピーカーと本体内部の基板がコードでつ ながっているため、断線する場合があります。



6 上面カバーから伸びているスピーカーのコードを本体内部の基板のソケットから抜いて、カバーを外す 注意コードを抜く際は、コードを持たずにコネクタ部分を 持って抜いてください。



7 右図を参考に、コネクタに FVS-2 を差し込む
 注意 コネクタの向きを確認して、奥まで差し込んでください。

- ГVS-2用 Эネクタ
- 8 本体上面のカバーから伸びるスピーカーのコードを基板のソケットに元通り差し込む
- 9 本体上面のカバーを取り付けて、8ヶ所のビスでとめる

ボイスメモリーを使う

ボイスメモリーは、受信した音声を録音する機能です。音声は本機に装着した FVS-2 (オプション)に保存されます。あとから本機で再生して聴いたり、消去したりできます。

ボイスメモリーの動作を設定する

- 1 本機の電源を入れる
- 2 (2007)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。

- DIALをまわして[12 OPTION]を選択し、 (温暖)を 押す
- DIALをまわして[2 VOICE MEMORY]を選択し、
 (温暖)を押す
 詳細な設定のための画面が表示されます。
- 5 DIALをまわして[1 PLAY/REC]を選択し、(器) を押す
- 6 DIAL をまわして録音時間を設定する
 「FREE 5min」: 8 個の録音エリアで、合計 5 分間録音できます。
 [LAST 30sec]: 最後の 30 秒間を録音します。

 参考 工場出荷時 : FREE 5min
- 7 (品語)を1秒以上押す もとの画面に戻ります。



受信音声を録音する

1 (
論)を1秒以上押す ディスプレイの下部にメニューが表示されます。

2 **P**_xを押す(上に置が表示されています)

録音が開始されます。

れます。











4 (認定)を1秒以上押す もとの画面に戻ります。

3 (BACK)を押す(上に置が表示されています) 録音が停止します。 また、[TRCK]に録音した音声のトラック番号が表 示されます。

録音した音声を再生する

- 1 (認定)を1秒以上押す ディスプレイの下部にメニューが表示されます。
- 2 Gm (上に置が表示されています)を押して、再生す るトラック番号を選ぶ
 - 参考・録音した音声が2つ以上ある場合は、押すたびに 「ALL」「1」「2」…のように切り替わります。
 - ・「ALL」を選ぶと、録音されているすべてのトラックを 順番に再生します。
- 3 (SBE)を押す(上に置が表示されています) 再生が開始されます。 選択したトラックの再生が終わると自動的に停止します。 再生を途中でやめるときは(EACK)を押します(上に置 が表示されています)。

録音した音声を消去する

- 1 (
 融)を1秒以上押す ディスプレイの下部にメニューが表示されます。
- 2 (TXPO)を押す(上に繋が表示されています) 確認画面が表示されます。

3 DIAL をまわして[OK?]を選択し、 (##)を押す 消去が開始されます。

注意 すべての音声が消去されます。録音した音声が2つ以 上ある場合でも、消去するトラック番号を選ぶことは できません。

消去が終わると、[TRCK]に「ALL」が表示されます。

4 (2012)を1秒以上押す もとの画面に戻ります。





周波数を読み上げる音声を聞く

アナウンス機能の動作を設定する

次のような内容を設定します。

- 音声読み上げの条件
- 読み上げ時の言語選択
- 読み上げ時の音量設定
- •読み上げ時の受信音ミュート設定
- 1 (2009)を1秒以上押す セットアップメニューが表示されます。
- DIALをまわして[12 OPTION]を選択し、(温齢)を 押す
- DIALをまわして[2 VOICE MEMORY]を選択し、
 (温歌)を押す
 詳細な設定のための画面が表示されます。
- 4 DIALをまわして[2 ANNOUNCE]を選択し、 (2007)を押す
- 5 DIALをまわし、周波数を読み上げる条件を選ぶ
 「AUTO]: (AUTO]: (AUTO): (AUTO): (AUTO)
 「「「ます。
 「OFF]: 周波数を音声で読み上げません。
 「MANUALJ: (AUTO)
 「公式
 「公式
 「本国本
 「本
- 6 BACK を押す
- 7 DIALをまわして[3 LANGUAGE]を選択し、(2008) を押す

VOICE MEMORY	
1 PLAY/REC:[FREE 5min	1
2 ANNOUNCE: [AUTO	1
3▶LANGUAGE:[JAPANESE	1
4 VOLUME ∶[HIGH	

- B DIAL をまわし、読み上げるときの言語を選ぶ
 DIAL をまわすたびに[JAPANESE]と[ENGLISH]が切り替わります。
 ジョン
 ゴ場出荷時: JAPANESE
- 9 BACK を押す
- **10** DIALをまわして**[4 VOLUME]**を選択し、(2008)を 押す

VOICE MEMORY	
1 PLAY/REC:[FREE 5min 2 ANNOUNCE:[AUTO 3 LANGUAGE:[JAPANESE 4 VOLUME :[HIGH]]]

DIAL をまわし、読み上げるときの音量を選ぶ
 DIAL をまわすたびに[HIGH][MID[LOW]が切り替わります。
 びぎ 工場出荷時: HIGH



12 DIALをまわして[5 RX MUTE]を選択し、 (品語)を 押す

VOICE MEMORY	
2 ANNOUNCE: AUTO 3 LANGUAGE: I JAPANESE 4 VOLUME : I HIGH 5▶RX MUTE : I ON]]]

- 13 DIAL をまわし、受信音のミュート機能動作を選ぶ DIAL をまわすたびに「ON」と「OFF」が切り替わります。 「ON」: 音声で読み上げ時や、録音音声再生時に、受信音がミュートします。 「OFF」: 音声で読み上げ時や、録音音声再生時でも、受信音はミュートしません。
- 14 (2007)を1秒以上押す アナウンス機能の動作が設定され、もとの画面に戻ります。

周波数を読み上げる音声を聞く

(1) 動作を「AUTO」に設定しているとき

次のようなときに、自動的に操作バンドの周波数が読み上げられます。

- メモリーモードと VFO モードを切り替えたとき
- •操作バンドを変えたとき



DIAL をまわしても、音量を調節できます。

(2)動作を「MANUAL」に設定しているとき

 (2020)を1秒以上押す 操作バンドの周波数が読み上げられます。



DIAL をまわしても、音量を調節できます。
付録

保守について

お手入れ

ホコリや汚れを清掃するときは、本製品の電源を切ってから、乾いたやわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。

注意 洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。カバーが損傷した り、塗装がはがれたりする原因になることがあります。

ヒューズの交換

DC 電源ケーブルのヒューズが切れ、本製品が動作しなくなった場合は、原因を取り除いたうえで、定格のヒューズ(FTM-100D:10A、FTM-100DH:15A)と交換してください。

注意 ヒューズを交換するときは、電源ケーブルを本製品と外部 DC 電源からはずしてください。

●DC 電源ケーブルのヒューズを交換する

- 新しいヒューズを用意する FTM-100Dは10A、FTM-100DHは15Aのヒューズをお使いください。
 注意指定されたアンペア数以外のヒューズは、絶対に使用しないでください。
- 2 右図を参考に、ヒューズホルダーを開く



3 切れたヒューズを取り外す



- 4 新しいヒューズを取り付ける
- 5 ヒューズホルダーを閉じる

故障かな?と思ったら



修理を依頼される前に、次の事項を確認してください。

電源が入らない

- 外部電源の接続は間違っていませんか?
 黒色線をマイナス端子に、赤色線をプラス端子に接続してください。
 外部電源の電圧や電流容量が不足していませんか?
- 外部電源の電圧や電流容量を確認してください。 FTM-100D — 13.8V、12A 以上 FTM-100DH — 13.8V、20A 以上
- ヒューズが切れていませんか?
 ヒューズを交換してください。

音が出ない

- スケルチのレベルや設定が大きくなっていませんか? 弱い信号を受信するときには、スケルチレベルを調整してください。
- 音量が下がっていませんか?
 VOL ツマミを時計回りにまわして音量を大きくしてください。
- トーンスケルチまたは DCS がオンになっていませんか?
 トーンスケルチまたは DCS がオンのときには、設定したトーン周波数または DCS コードと同じ信号が含まれた信号を受信するまで音は出ません。
- 外部スピーカーを接続していませんか? インピーダンスが4~16 Ωのスピーカーを正しく接続してください。
- Bluetooth ヘッドセットを使っていませんか?
 セットアップメニューで、ヘッドセットと本体の両方から音が出るように、またはヘッドセットを使用しないように設定してください。

電波が出ない

- PTT スイッチは確実に押していますか?
- ●マイクロホンは正しく接続されていますか?
 コネクタを MIC ジャックの奥まで確実に差し込んでください。
 送信周波数はアマチュアバンドになっていますか?
- を信局波数はアマテュアハントになっていますが?
 アマチュアバンド以外では送信できません。
- アンテナや同軸ケーブルが断線していませんか?
 アンテナまたは同軸ケーブルを交換してください。
- 外部電源の電圧は正常ですか? 送信時に電圧降下を起こすような電源では、本機の性能を十分に発揮することはできません。 直流 13.8V、電流容量 20A(FTM-100D は 12A)の直流安定化電源を使用してください。

キーやツマミを操作しても変化がない

●ロック機能がオンになっていませんか?
 電源 /LOCK キーを押して、ロックを解除してください。

内部スプリアスについて

同時受信時の組み合わせによって、内部発振器の高周波による内部ビート等の影響がありますが、故障ではありません(下記計算式参照:n は任意の整数)。また、同時受信時に周波数の組み合わせによっては、受信感度の変動がある場合があります。

- ●受信周波数= 12.288MHz × n 倍
- 受信周波数= 2.4576MHz × n 倍
- ●受信周波数= 11.1MHz × n 倍
- 受信周波数= 15.6MHz × n 倍
- 受信周波数= 6.1444MHz × n 倍
- ●受信周波数= 18.432MHz × n 倍



本製品または他の当社製品についてのお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、 当社カスタマーサポートにお願いいたします。

八重洲無線株式会社 カスタマーサポート 電話番号 0120-456-220 受付時間 平日9:00~12:00、13:00~18:00

八重洲無線株式会社 〒140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8 天王洲パークサイドビル